

医学部保健学科学生の手引

平成31年度

長崎大学医学部保健学科

平成31年度(2019年度)医学部保健学科学年暦

セメスター 前期:4月8日～8月6日

クォーター ①:4月8日～6月10日

②:6月11日～8月6日

2019年	日	月	火	水	木	金	土	備 考 (日付は予定です)	
4月		1	2	3	4	5	6	編入学生オリエンテーション 4/2 新入生(安全・生活指導) 4/1	
		7	8	9	10	11	12	13	△ 入学式 4/2 教養教育オリエンテーション 4/2
		14	15	16	17	18	19	20	(1年次)学部・学科オリエンテーション 4/3 学生定期健康診断 4/16～4/26
		21	22	23	24	25	26	27	授業開始 4/8 (4年次「医療と社会Ⅱ」のみ4/5開始)
		28	29	30	1	2	3	4	(4年次)看護学専攻:在宅看護学実習 4/15～7/12
5月		5	6	7	8	9	10	11	(4年次)理学療法学専攻:総合臨床実習Ⅱ 5/7～6/22
		12	13	14	15	16	17	18	(4年次)作業療法学専攻:総合臨床実習Ⅱ 5/7～6/22
		19	20	21	22	23	24	25	(4年次)看護学専攻[保健師課程履修者]:公衆衛生看護学実習 5/13～7/19
		26	27	28	29	30	31	1	○第1クォーター試験日 6/4・5・6・7・10、セメスターは授業日
6月		2	3	4	5	6	7	8	開学記念日 5/31(授業日)
		9	10	11	12	13	14	15	
		16	17	18	19	20	21	22	(4年次)看護学専攻[保健師課程履修者]:産業保健学実習 7/1～7/5
		23	24	25	26	27	28	29	(4年次)理学療法学専攻:総合臨床実習Ⅲ 7/8～8/24
7月		30	1	2	3	4	5	6	(4年次)作業療法学専攻:総合臨床実習Ⅲ 7/8～8/24
		7	8	9	10	11	12	13	オープンキャンパス 7/20 (1・3年次)TOEICテスト 7/6予定
		14	15	16	17	18	19	20	○前期・第2クォーター試験日 7/31・8/1・2・5・6
		21	22	23	24	25	26	27	※(教養)初習外国語統一試験 8/7 5校時及び6校時 夏季休業 8/7～9/29
8月		28	29	30	31	1	2	3	(3年次)集中講義「カウンセリング技法」 8/7・8(2日間)
		4	5	6	7	8	9	10	
		11	12	13	14	15	16	17	移動オープンキャンパス 8/24
		18	19	20	21	22	23	24	(1年次)看護学専攻:基礎看護学実習Ⅰ 8/26～9/6
9月		25	26	27	28	29	30	31	(2年次)看護学専攻:小児看護学実習Ⅰ 8/19～9/13
		1	2	3	4	5	6	7	(4年次)看護学専攻:学校保健学実習 9/2～9/6
		8	9	10	11	12	13	14	(4年次)統合ケア実習 9/9～9/13
		15	16	17	18	19	20	21	(3年次)看護学専攻:実習オリエンテーション 9/9～13
		22	23	24	25	26	27	28	(1年次)作業療法学専攻:臨床実習Ⅰ 9/2～9/5
	29	30							(2年次)作業療法学専攻:臨床実習Ⅱ 9/9～9/12

: 授業日 : 月曜の授業

: 授業15回(7回)実施後、定期試験

: 土曜日・日曜日・祝祭日を示す

平成31年度(2019年度)医学部保健学科学年暦

Semester 後期:9月30日～2月10日

Quarter ③:9月30日～12月2日

Quarter ④:12月3日～2月10日

2019年	日	月	火	水	木	金	土	備 考 (日付は予定です)
9月	22	23	24	25	26	27	28	授業開始 9/30 (2年次「医療と社会 I」のみ9/25開始) (3年次)看護学専攻:臨地実習 9/24～2/14
	29	30	1	2	3	4	5	
10月	6	7	8	9	10	11	12	社会人入試 11/2 3年次編入学試験 11/2
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30	31	1	2	
11月	3	4	5	6	7	8	9	学園祭 11/2～4(11/1は前夜祭) 推薦入試 11/21(休講)、11/20(休講) ○第3クォーター試験日:11/22・26・27・28・12/2、Semesterは授業日
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
12月	1	2	3	4	5	6	7	冬季休業 12/24～1/5(予定)
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31	1	2	3	4	
2020年	5	6	7	8	9	10	11	大学入試センター 1/18～19 (3年次)理学療法学専攻:総合臨床実習 I 1/6～2/1 (3年次)作業療法学専攻:総合臨床実習 I 1/6～2/8 ○後期・第4クォーター試験日:2/3・4・5・6・7
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31	1	
2月	2	3	4	5	6	7	8	※(教養)初習外国語統一試験 2/5 5校時及び6校時 (1年次)理学療法学専攻:基礎理学療法学実習 I 2/17～22 (2年次)理学療法学専攻:基礎理学療法学実習 II 2/17～22
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
3月	1	2	3	4	5	6	7	一般入試(前期日程) 2/25 (2年次)看護学専攻:基礎看護学実習 II 2/17～3/13 一般入試(後期日程) 3/12 春季休業 2/11～3/31 卒業式 3/25
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					

- :授業日
- :授業15回(7回)実施後、定期試験
- :休講日
- :土曜日・日曜日・祝祭日を示す

目 次

1. 医学部長挨拶	1
2. 保健学科長挨拶	2
3. 沿革	3
4. 保健学科の概要	4
1) 教育理念	4
2) 各専攻の特色 (1) 看護学専攻 (2) 理学療法学専攻 (3) 作業療法学専攻	4
3) 入学定員	6
4) 学位	6
5) 資格の取得	6
6) 卒業後の進路	6
7) 保健学科カリキュラム概念図	7
5. 教育課程一覧表	8
1) 看護学専攻の専門教育科目	9
2) 理学療法学専攻の専門教育科目	11
3) 作業療法学専攻の専門教育科目	13
6. 履修案内	15
1) 学期	15
2) 授業時間	15
3) 授業実施場所	15
4) 授業時間割・シラバス	15
5) 出席日数及び欠席届	15
6) 試験	15
7) 受験上の注意	16
8) 追試験・再試験	16
9) 再履修	16
10) 成績の発表	16
7. 長崎大学ナンバリング・システム	17
1) 長崎大学ナンバリング・システムの統一フォーマット	17
2) 長崎大学ナンバリング・システムの特徴	18
3) ナンバリング・システムの活用方法	19
8. 履修手続の方法	21
1) 履修登録	21
2) 履修登録期間	21
9. 既修得単位の認定	22

10.	学生生活関連事項	23
1)	諸手続について	23
2)	学生への諸連絡等	24
3)	授業料免除制度	24
4)	奨学金制度	24
5)	諸証明書の発行	25
6)	団体及び集会	25
7)	時間外学習・研究について	25
8)	施設の使用	26
9)	ロッカー室の使用について	26
10)	304講義室 利用上の注意	26
11)	インターネット利用上の注意	27
12)	海外渡航	28
13)	自動車等による入構	28
14)	事故等の報告	28
15)	喫煙	28
11.	保健学科図書室の利用	29
12.	附属図書館医学分館	38
13.	健康管理	41
14.	感染防止対策	41
15.	学生のための傷害保険等	42
16.	諸規則	43
1)	長崎大学医学部規程	44
2)	医学部保健学科教務内規	56
3)	医学部保健学科における長期履修に関する申し合わせ	59
4)	医学部保健学科編入学に関する内規	60
17.	教職員名簿	64
18.	校舎配置図・平面図等（避難経路図）	65
19.	保健学科における地震等災害緊急対応マニュアル	72

1. 医学部長挨拶

医学部長 永安 武

医学部医学科、保健学科の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

平成の31年間が終わり、新たな元号が始まる日本の歴史の節目にあたり、君たち同様、私も身の引き締まる思いでいます。

入学にあたり長崎大学医学部が関わった日本の歴史における節目となる出来事を2つ紹介します。

一つ目が、近代西洋医学の導入と確立です。海軍伝習と呼ばれた幕末における国家的プロジェクトにおいて西洋科学導入のために来日したオランダ人医師ポンペ・ファン・メールデルフオールトが医学伝習のための講義を開始した1857年11月12日は、日本における西洋医学発祥の日であると同時に長崎大学医学部の創立記念日でもあります。

近代西洋医学教育の父と称されるポンペの長崎着任時の年齢はわずか28歳でしたが、1859年に西坂の丘で日本初の人体解剖実習を行い、1861年には長崎港を見おろす小島郷の丘に医学所と日本初の西洋式付属病院である養生所を設立・開院しました。

「医師は自らの天職をよく承知していなければならぬ。ひとたびこの職務を選んだ以上、もはや医師は自分自身のものではなく、病める人のものである。もしそれを好まぬなら、他の職業を選ぶがよい。」ポンペが日本を離れるにあたり残したこの言葉は、長崎大学医学部建学の理念であり、我々が目指すべき医療人としての在り方を示しています。

二つ目が、原子爆弾被害からの復興です。1945年8月9日、世界で第2発目の原子爆弾により、長崎医科大学と附属病院は壊滅状態となり、長崎市及び周辺の多くの方々と共に890有余名の大学関係者と学生らが犠牲となりました。自らも被爆するなかで原爆障害の研究に献身的に取り組んだ永井隆博士に代表されるように、世界で唯一原子爆弾の被害を受けた医学部として、様々な形で被爆医療に携わってきました。さらに東北大震災で起きた福島第一原子力発電所事故による原子力災害に対する医療健康管理活動支援や人材育成も推進してきました。

このような歴史を背景に、長崎大学医学部は現代の様々なニーズに応じて先進的な医療技術と知識を備えた人材育成ができる医学部として今日まで発展し、近年では、新興感染症、熱帯医療、放射線医療、離島・地域医療以外にも、移植医療、がん医療、医工連携など多くの教育プログラムで成果を上げようとしています。

長崎大学出身でノーベル化学賞を受賞された故下村脩氏は、「どんなに難しいことでも努力すればなんとかなる」という平易な中にも力強い言葉を本学の講演で残されました。

君たちにとってこれからの学生生活は決して楽しいことばかりではなく、厳しい講義や実習を辛く感じたり、人間関係に悩んだりすることもあるかもしれません。

真の医療人になるために大いに努力してください。それを我々も一生懸命サポートしていきます。

2. 保健学科長挨拶

保健学科長 澤井 照光

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。保健学科は、看護学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻の3つの専攻に分かれています。各専攻において育成される専門職、すなわち看護師、理学療法士、作業療法士という職業について、皆さんは具体的にどのようなイメージを抱いていますか。自分の将来像を、はっきりと描出すことはできますか。目標に向かって努力を重ねた結果としての合格で、これからも夢を叶えるため頑張るぞという強い意志で入学された人もいるでしょう。その一方で、ご両親や担任の先生から勧められたまま自分の意志とはあまり関係なく受験し、入学したものの目的意識は曖昧だという人もいるかも知れません。

百人百様といいます。志望動機やモチベーションだけではなく、これまで育ってきた環境や経験してきた事柄も全く異なっている皆さんだと思います。それでも、入学したからには共通の目的、一人前の医療従事者を目指すことを前提として4年間を共に過ごすこととなります。一緒に学ぶ仲間には保健学科の同級生だけではなく、同じ医療従事者を志すものとして医学部医学科や、歯学部、薬学部の学生とチームを作り、共に学ぶセミナーを早速4月から実施します。また、将来皆さんが専門職となった後、相互理解が最も必要となる医学科の学生とはチーム医療について考え、体験する共修科目も予定しています。各地から集まってきた多種多様な同級生や、職種は違っても同じ医療人を目指している仲間とこれから精一杯交流を深めてください。

さて、私たち医療人が社会人として活躍できるのは、誰かの健康状態に問題が生じたときです。その問題を解決するため自分に何ができるか、どのような方法が「患者さん」にとって最善であるのか、判断が求められます。医療現場は知識や経験がものをいう世界です。ここでいう経験とは自分自身の経験のみならず、見聞きすることによって得られる疑似体験も含まれます。知識はとても大切です。たった一つの誤った知識によって、最悪の場合「患者さん」を死に至らしめることさえあり得ます。しかも困ったことに、現時点で正しいと信じられている知識が、明日も正しいままであるとは限りません。それが科学としての医学でもあります。

もう一つ大切なことは、私たちの相手が人だということです。同じ風邪であっても、人によって発熱の程度や症状の強さはまちまちです。それはがんという病気であっても同様です。同じところががんができたとしても、治療によって元通りの生活に戻れる人もいれば、戻れない人、戻れるけれども時間が掛かる人など様々です。家族や仕事など、個人の背景にあるものも百人百様で、私たちにとっての最善が「患者さん」にとっても最善であるとは限りません。一人一人で答えは違ってきます。科学としての正しい（と現時点で信じられている）知識だけではなく、「患者さん」の背景にある様々な事情や思いまで配慮することが私たちには求められています。

「患者さん」を「クライアント」に書き換え、細かい字句を修正すれば、仕事をする上で大切なことはあらゆる職業に共通するものだと思います。皆さんにとっての学修は、4年間で終わってしまう訳ではありません。むしろ、卒業して社会人になってからが本当の意味での学修になると思います。大学で皆さんに学んで欲しいことは、自分自身に最も合うやり方で、生涯にわたって学修し続ける術を身に付けることです。万が一進む道が変わってしまった場合でも、これから学ぶことは何一つ無駄にならないと断言できます。学ぶことは、誰のためでもなく自分自身のためだということを忘れないでください。そして、皆さんが将来こうなりたい、こんなことがしたい、という夢が実現されるよう、私たち職員は最大限サポートしていきたいと思います。

3. 沿 革

長崎大学医学部保健学科は、平成13年10月に設置され、平成14年4月より学生を受け入れました。本学科の前身である医療技術短期大学部は、長崎大学医学部附属看護学校を母体として、昭和59年4月に長崎大学に併設され、開設時に看護学科が、同年10月に理学療法学科と作業療法学科が、さらに昭和62年4月に専攻科助産学特別専攻が設置されました。看護学科は昭和59年5月、理学療法学科と作業療法学科は、昭和60年4月、専攻科助産学特別専攻は昭和62年4月より学生受け入れを開始しましたが、保健学科の設置に伴い、看護学科、理学療法学科、作業療法学科は平成13年度で、専攻科助産学特別専攻は平成16年度で学生受け入れを中止しました。

なお、長崎における看護教育は、明治36年10月に発足した長崎県立長崎病院附属看護婦養成所に始まり、長崎大学医学部保健学科まで100年に亘る歴史があります。

明治36年10月	長崎県立長崎病院附属看護婦養成所として発足
大正11年 4月	官立長崎医学専門学校附属医院助産婦及び看護婦養成所と改称
大正12年 4月	長崎医科大学附属医院助産婦及び看護婦養成所と改称
昭和20年 6月	長崎医科大学附属医院厚生女学部と改称（産婆科併設－26.3廃止）
昭和20年12月	原子爆弾の被災により現国立病院長崎医療センターに移転
昭和24年 5月	長崎大学医学部附属厚生女学部と改称
昭和26年 4月	長崎大学医学部附属長崎大学看護学校と改称
昭和30年 6月	長崎大学医学部附属助産婦学校を新設
昭和31年 4月	長崎大学医学部附属看護学校と改称
昭和59年 4月	長崎大学に長崎大学医療技術短期大学部を併設 看護学科（入学定員50人）を設置
昭和59年 5月	看護学科学生受け入れ開始
昭和59年10月	理学療法学科（入学定員20人）作業療法学科（入学定員20人）を設置
昭和60年 4月	理学療法学科及び作業療法学科学生受け入れ開始
昭和60年 9月	新校舎竣工
昭和61年 4月	長崎大学医学部附属看護学校を廃止
昭和62年 4月	長崎大学医学部附属助産婦学校を廃止
昭和62年 4月	専攻科助産学特別専攻（入学定員20人）を設置
平成 3年 4月	看護学科の入学定員を80人に増員
平成 8年 4月	専攻科助産学特別専攻が学位規則第6条第1項に規定する専攻科として学位 授与機構から認定
平成13年10月	長崎大学医学部保健学科看護学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻 （修業年限4年）を設置
平成14年 4月	長崎大学保健学科学生受け入れ開始
平成17年 3月	長崎大学医療技術短期大学部及び専攻科助産学特別専攻を廃止
平成18年 4月	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻（修士課程）を設置

4. 保健学科の概要

1) 教育理念

医療における関連諸科学の著しい進歩と急速な少子高齢化，疾病構造の変化，健康意識の高まり等の社会環境の変化に伴い，医療従事者に対する社会的要請は大きく変化してきています。すなわち，個別的ケアを基盤に，高度専門医療や生命倫理等に対処しうる資質，医学・看護学・リハビリテーションを包括したチーム医療，保健・福祉と連携し，介護を含めた地域ケアへの貢献等が求められています。cureからcareが叫ばれるように，医学中心のこれまでの医療から脱皮し，医学と連携した看護学，理学療法学，作業療法学の役割が重要となってきており，ヘルスプロモーションとしての疾病予防，健康維持増進からリハビリテーションまでの包括的アプローチの必要性が高まっています。また，さまざまな分野における国際化に伴い，医療分野での国際的貢献も極めて重要となってきています。

長崎県は島嶼部や半島を多く抱える地勢的特性によりユニークな離島医療政策を実施してきており，地域を包括する医療を実践できる保健医療専門職の人材確保が緊急課題となっています。また，原爆被爆県として未だその後遺障害に苦しむ多くの患者が存在し，地域医療・ケア体制の確立の視点からも，資質の高い医療専門職者の育成が望まれています。平成12年度からは介護保険制度が導入され，ケアマネジメントの能力を身につけた医療専門職者の育成も緊急課題となっています。

このような社会的要請に応えて，本学科の看護学，理学療法学，作業療法学の3専攻は，生命と人間の尊厳に基づいた，人間教育を基盤として，高度な専門的知識・技能を修得し，自立性と社会性を身につけた創造性豊かな，社会に貢献できる資質の高い医療専門職者を育成します。

さらに，チーム医療による統合ケアを実践し，地域医療の向上に貢献できる能力，他領域の人々と連携できる学際的能力，専門職として，幅広い社会的活動及び国際的医療活動ができる能力を養うことを目標にします。

2) 各専攻の特色

(1)看護学専攻

本学における看護学教育は，社会的環境と高度・専門化する医療の変化に対応できる資質と専門的知識・技能を身につけ，他の医療専門職や地域ケアスタッフと協調して，あらゆる健康レベルの人々に対して主体的で創造的な看護ができる人材の育成を目標としています。また，長崎県は島嶼部や半島を数多く有しているため，その地域特性に対応した保健・医療情報システム網を活用し，そこに参画できる看護職を育成することも必要であり，豊かな人間性と専門的知識・技能を身につけ，科学的・理論的思考に基づいた対象者の援助ができる看護職の育成を目指しています。

そのため看護の中心的概念を「人間」「健康」「環境」「看護」の4要素とし，授業科目の統一性を図っています。具体的には，「講義」→「学内演習」→「臨地実習」→「看護の科学的探究」→「卒業研究」と発展的に学んでいく「系統的学習形態」をとっています。卒業研究は学生が関心のある分野において，それまで学んできたものを再度系統的に探求していく科学的・論理的学習の場としています。そのためチュートリアル教育による

双方向的学習とし、教員との関わりを密にし、学生の個々の能力と個性、専門分野の探求心をのばし、「専門性の確立」を目指しています。

(2)理学療法学専攻

理学療法（Physical Therapy）は、障害者の身体的な機能回復・維持を通して、彼らの社会的自立とQOL向上を図るものであり、高度の専門性と他職種とのチームアプローチが求められ、その役割は医療機関だけでなく地域まで拡大しています。また、医学・医療の進歩による重症患者の救命は、一方では重度障害者の増加をもたらし、理学療法士の役割と責任は益々大きくなっています。

従って、人間の尊厳を第一とし、専門的な知識と技術、科学的判断に基づき、医療機関だけでなく地域においても、個々の障害者のニーズに対応できる理学療法が実践でき、理学療法の学問体系の発展と国際化に寄与できる人材の育成を目指しています。

(3)作業療法学専攻

作業療法（Occupational Therapy）は、心身の障害のための生活が不自由になった人々（子どもから老人まで）が、快適で豊かな生活を送れるよう治療・指導・助言するものです。この「作業(occupation)」という言葉は「occupy」からきており、それは「(心を)専念させる、専心する」という意味をもっています。つまり、治療を行う場合、障害を持つ人の意欲を引き出しながら、遊びや創作活動、日常生活で行われるさまざまな活動を用いる点が大きな特徴です。

従って、作業療法とは、身体又は精神に障害がある者に対し、その主体的な生活能力の獲得を目的に、身体・精神の諸機能の回復、維持及び開発を促すために作業活動（日常活動の諸動作、仕事・遊びなど人間の生活全般に関わる諸活動）を用いて治療・指導・助言を行うことと言えます。現在、作業療法士の活躍する場は、病院から地域、医療から保健・福祉の場へと大きく拡がりつつあります。そのため独自の専門性を保ちつつ、他の医療・保健・福祉の専門職と協調し、多様なニーズをもつ様々な患者・障害者の社会生活の再建・継続の支援に柔軟に対応できる創造性豊かな人材の育成を目指しています。

3) 入学定員

専攻名	入学定員	編入学定員	収容定員
看護学専攻	70	10	300
理学療法学専攻	18	若干人	72
作業療法学専攻	18	若干人	72
合計	106	10	444

4) 学位

本学科の卒業要件単位を修得した者には、次の学士の学位が授与されます。

看護学専攻	学士（看護学）
理学療法学専攻	学士（保健学）
作業療法学専攻	学士（保健学）

5) 資格の取得

本学科では、所定の教育課程を修得し、卒業すると次の免許の国家試験受験資格が得られます。

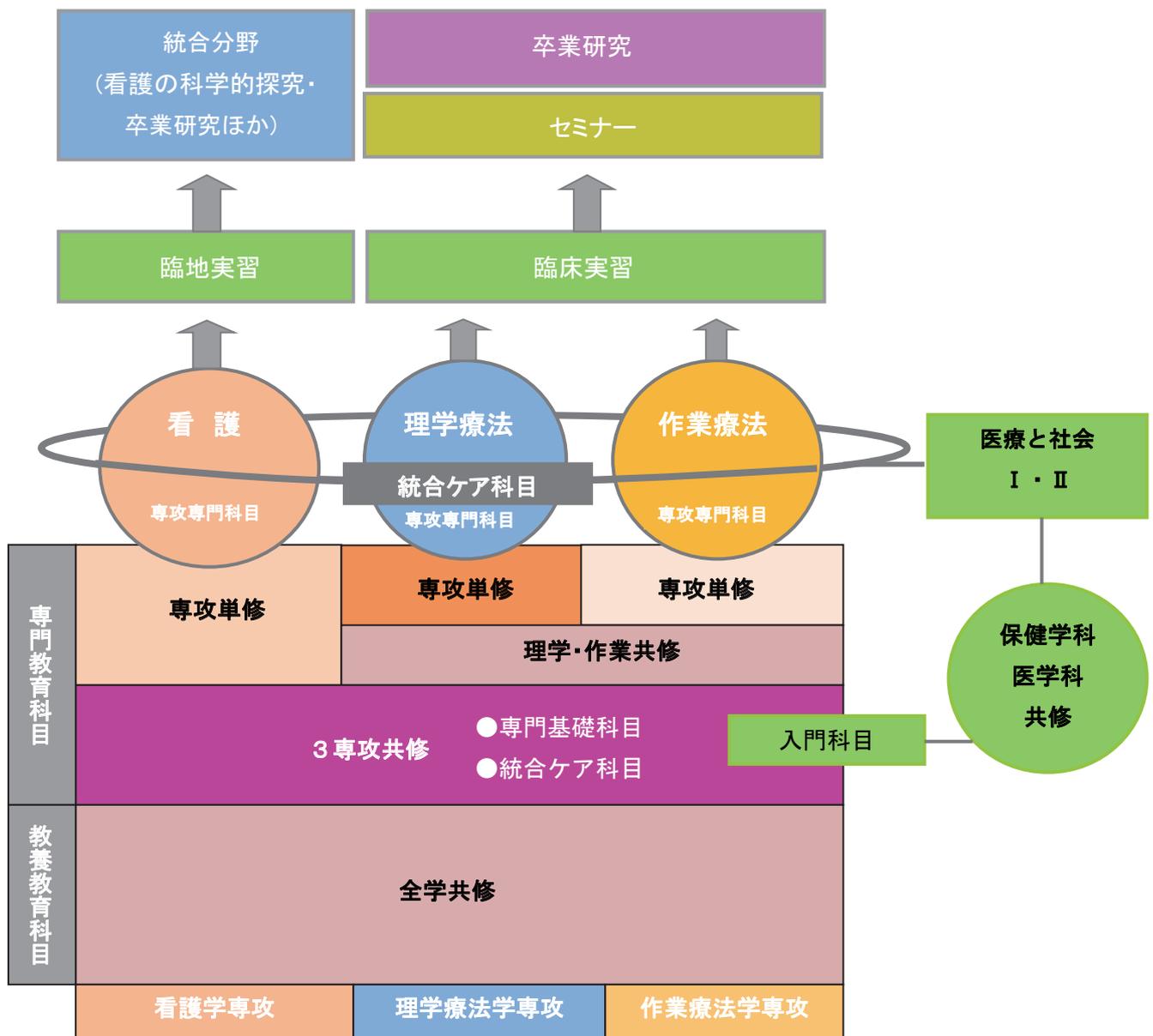
看護学専攻	看護師
理学療法学専攻	理学療法士
作業療法学専攻	作業療法士

国家試験に合格すれば、看護師、理学療法士、作業療法士の資格が得られます。この国家試験は、競争試験ではなく、資格試験ですので一定以上の得点を必要とします。

6) 卒業後の進路

卒業後の進路としては、各国家試験で資格を取得したそれぞれのプロフェッショナルとして、看護学専攻では、医療機関、訪問看護ステーション、老人保健施設、老人福祉施設、地方自治体等への就職及び大学院進学などがあります。理学療法学専攻、作業療法学専攻では、医療機関、介護老人保健施設、老人福祉施設、地方自治体、肢体不自由施設等への就職及び大学院進学があります。

7) 保健学科カリキュラム概念図



5. 教育課程一覧表

- 1) 看護学専攻の専門教育科目
- 2) 理学療法学専攻の専門教育科目
- 3) 作業療法学専攻の専門教育科目

1) 看護学専攻

授業科目 の区分	授業科目名	単位数		授業時間	開設年次・学期・単位								備考		
		必修	選択		1年次		2年次		3年次		4年次				
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専 門 基 礎 科 目	人体の構造と機能	2		60	2										20単位以上
	栄養・代謝学	1		15		1									
	病理学	1		15		1									
	微生物学	1		15		1									
	薬理学	1		30				1							
	臨床病態学Ⅰ	2		60			2								
	臨床病態学Ⅱ	2		60				2							
	公衆衛生学	1		15				1							
	保健医療福祉システム論	1		15				1							
	社会福祉	1		15				1							
	保健医療統計学	2		30					2						
	臨床遺伝学	1		15					1						
	カウンセリング技法		1	15					1						
	医療と社会Ⅰ	1		30				1							
	医療と社会Ⅱ	1		15							1				
	ボランティア活動		1	45								1			
グローバル化と健康	1		15		1										
医療英語	1		15					1							
専 門 分 野 Ⅰ	看護学概論	1		15	1									13単位	
	援助の人間関係論	1		15	1										
	看護過程	2		30			2								
	フィジカルアセスメント	1		30				1							
	看護倫理	1		15								1			
	基礎看護技術Ⅰ	1		30	1										
	基礎看護技術Ⅱ	2		60		2									
	基礎看護技術Ⅲ	1		30			1								
	基礎看護学実習Ⅰ	1		45	1										
基礎看護学実習Ⅱ	2		90				2								
専 門 分 野 Ⅱ	成人看護学総論	2		30			2							32単位	
	侵襲的治療看護方法論	1		30				1							
	療養支援看護方法論	1		30				1							
	救命救急看護	1		15					1						
	成人看護学総合演習	1		30					1						
	成人看護学実習Ⅰ	4		180						4					
	成人看護学実習Ⅱ	2		90						2					
	成長発達看護学	1		30			1								
	小児看護学	1		30				1							
	小児と健康学	2		30			2								
	小児看護学実習Ⅰ	1		45			1								
	小児看護学実習Ⅱ	1		45						1					
	女性と家族の健康学Ⅰ	2		30			2								
	女性と家族の健康学Ⅱ	1		30				1							
	女性と家族の健康学Ⅲ	1		30					1						
	母性看護学実習	2		90						2					
加齢と健康学	1		15		1										
老年看護学	2		30			2									
認知症と看護	1		15				1								
老年看護学実習Ⅰ	2		90						2						
老年看護学実習Ⅱ	2		90						2						

授業科目 の区分	授業科目名	単位数		授業時間	開設年次・学期・単位								備考	
		必修	選択		1年次		2年次		3年次		4年次			
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専 門 分 野 II	精神保健学	2		30			2							1 2 単位
	精神看護学 I	1		15					1					
	精神看護学 II	1		15					1					
	精神看護学実習	2		90						2				
	ケアマネジメント	1		15				1						
	在宅看護学 I	1		15			1							
	在宅看護学 II	2		30				2						
	在宅看護学実習	2		90							2			
門 統 合 分 野	地域看護学	1		30					*		*			1 0 単位以上
	地域保健学実習		1	45							1			
	国際保健学演習		1	30	1									
	国際保健学実習		1	45	1									
	看護の統合と発展	1		15					1					
	看護学研究方法論 I	1		15					1					
	看護学研究方法論 II	1		15							1			
	看護の科学的探究	1		45							1			
	卒業研究	2		60								2		
	災害看護学	1		15								1		
	看護管理学	1		15								1		
	看護コミュニケーション論		1	30				1						
	家族看護論		1	15					*		*			
	リハビリテーション看護学		1	15					*		*			
	医療安全と看護	1		15					1					
リプロダクティブ・ヘルス		1	15					*		*				
成育看護学		1	15					*		*				
統 合 ケ ア 科 目	入門科目	1		30	1									4 単位
	統合ケア論	1		30					1					
	統合ケア実習	1		45							1			
	離島の暮らしと保健医療	1		30								1		
合 計		101		2715	15		37		30		14		9 1 単位以上	

※ 最低修得単位数：9 1 単位

*：3年次前期または4年次前期で履修

授業科目の区分	授業科目名	単位数		授業時間	開設年次・学期・単位								備考	
		必修	選択		1年次		2年次		3年次		4年次			
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門科	地域理学療法学	1		15						1				
	運動器系理学療法学	1		15						1				
	運動器系理学療法学実習	1		30						1				
	中枢神経系理学療法学	1		15						1				
	中枢神経系理学療法学実習	1		30						1				
	発達障害系理学療法学	1		15						1				
	発達障害系理学療法学実習	1		30						1				
	呼吸・循環系理学療法学	1		15						1				
	呼吸・循環系理学療法学実習	1		30						1				
	理学療法学セミナーⅠ	1		30						1				
	臨床理学療法学セミナーⅠ	1		15						1				
	理学療法学セミナーⅡ	1		30									1	
	臨床理学療法学セミナーⅡ	1		15								1		
	臨床理学療法学セミナーⅢ	1		15								1		
臨床実習	基礎理学療法学実習Ⅰ	1		45		1								
	基礎理学療法学実習Ⅱ	1		45				1						
	総合臨床実習Ⅰ	4		180						4				
	総合臨床実習Ⅱ	7		315							7			
	総合臨床実習Ⅲ	7		315							7			
卒業研究	4		180									4		
統合ケア科目	入門科目	1		30	1									
	統合ケア論	1		30						1				
	統合ケア実習	1		45							1			
	離島の暮らしと保健医療	1		30								1		
合計		100		2700	17		27		30		26		96単位以上	

※ 最低修得単位数：96単位

3) 作業療法学専攻

授業科目 の区分	授業科目名	単位数		授業時間	開設年次・学期・単位								備考		
		必修	選択		1年次		2年次		3年次		4年次				
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専 門 基 礎 科 目	人体の構造と機能	2		60	2										選択科目 2単位以上
	栄養・代謝学		1	15		1									
	病理学	1		15		1									
	微生物学	1		15		1									
	機能解剖学Ⅰ	1		15	1										
	機能解剖学Ⅱ	2		30		2									
	機能解剖学実習	2		90		2									
	生理機能学Ⅰ	1		15	1										
	生理機能学Ⅱ	2		30		2									
	運動学Ⅰ	1		15		1									
	グローバル化と健康		1	15		1									
	薬理学	1		30				1							
	公衆衛生学		1	15				1							
	社会福祉	1		15				1							
	生理機能学実習	2		90			2								
	運動学Ⅱ	1		15			1								
	運動学実習	1		45				1							
	リハビリテーション医学	1		15				1							
	内科系障害とリハビリテーションⅠ	1		15			1								
	内科系障害とリハビリテーションⅡ	1		15				1							
	運動器系障害とリハビリテーションⅠ	1		15			1								
	運動器系障害とリハビリテーションⅡ	1		15				1							
	神経系障害とリハビリテーションⅠ	1		15			1								
	神経系障害とリハビリテーションⅡ	1		15				1							
	外科系障害とリハビリテーション	1		15			1								
	精神系障害とリハビリテーションⅠ	2		30			2								
	小児系障害とリハビリテーション	2		30			2								
	医療と社会Ⅰ	1		30				1							
	保健統計学	1		15					1						
	カウンセリング技法	1		15					1						
	救急医学特論		1	15						1					
	医療情報科学特論		1	15						1					
	保健医療福祉システム論		1	15					1						
	医療英語	1		15						1					
	保健医療統計学		2	30						2					
医療と社会Ⅱ	1		15								1				
ボランティア活動		1	45									1			
基 礎 作 業 療 法 学	作業療法学概論	1		15	1										
	基礎作業学概論	1		15			1								
	基礎作業学技法Ⅰ	1		30			1								
	基礎作業学技法Ⅱ	2		60				2							
	治療作業学	1		15			1								
	作業療法評価法	2		30				2							
	精神系障害とリハビリテーションⅡ	1		15				1							
	作業療法評価法実習	1		30					1						
作業療法研究法	1		15						1						

授業科目 の区分	授業科目名	単位数		授業時間	開設年次・学期・単位								備考
		必修	選択		1年次		2年次		3年次		4年次		
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専 門 科	身体障害作業治療学	2		30					2				選択科目 2単位以 上
	身体障害作業治療学実習	1		30						1			
	精神障害作業治療学	2		30					2				
	精神障害作業治療学実習	1		30						1			
	発達障害作業治療学	2		30					2				
	発達障害作業治療学実習	1		30						1			
	地域作業療法学	1		15					1				
	生活障害改善学	1		15					1				
	生活障害改善学実習	1		30						1			
	義肢装具学	1		15					1				
	義肢装具学実習	1		30						1			
	精神障害支援特論		1	15						1			
	発達障害支援特論		1	15						1			
	身体障害支援特論		1	15						1			
	作業療法学セミナー	2		60							2		
目	臨床実習Ⅰ	1		45	1								
	臨床実習Ⅱ	1		45			1						
	総合臨床実習Ⅰ	5		225						5			
	総合臨床実習Ⅱ	7		315							7		
	総合臨床実習Ⅲ	7		315							7		
卒業研究	4		180								4		
統 合 ケ ア 科 目	入門科目	1		30	1								
	統合ケア論	1		30					1				
	統合ケア実習	1		45							1		
	離島の暮らしと保健医療	1		30								1	
合 計		104		2,790	18		30		32		24		96単位以上

※ 最低修得単位数：96単位

6. 履修案内

1) 学期

本学科の学期は、前期と後期の2学期制及び当該学期を前半及び後半に分けた期間（第1～第4クォーター）を単位として開設します。

前期（第1・第2クォーター） 4月1日～9月30日

後期（第3・第4クォーター） 10月1日～3月31日

各学期・各クォーターの休業期間中に、集中講義や実習が行われることがあります。

2) 授業時間

授業は、1校時90分で、月曜日から金曜日まで次の時間帯に行われます。

I校時 8:50～10:20

II校時 10:30～12:00

III校時 12:50～14:20

IV校時 14:30～16:00

V校時 16:10～17:40

3) 授業実施場所

①教養教育科目の授業は文教キャンパスで行われ、専門教育科目の授業は坂本キャンパスで行われます。

②1年次は、教養教育科目の授業を3日間、専門教育科目の授業を2日間受講します。

③2年次は、教養教育科目の授業を2日間、専門教育科目の授業を3日間受講します。

④3年次からは、原則として月曜日から金曜日まで専門教育科目の授業を受講します。

⑤臨地・臨床実習は、長崎大学病院や関係の実習病院・施設等で実習します。

4) 授業時間割・シラバス

①授業時間割表は、学年始めに配付します。なお、授業時間割表の記載事項に変更が生じた場合は、その都度、掲示でお知らせします。

②シラバスには、授業内容及び方法・授業計画・担当教員及び連絡先・成績評価の方法・参考書・オフィスアワー等が記載されています。シラバスは「NU-Webシステム」で確認し、授業を受講する際の参考にしてください。

5) 出席日数及び欠席届

①単位の認定を受けるには、原則として当該授業科目の授業時間数の3分の2以上の出席が必要です。

ただし、病気、忌引、その他やむを得ない理由のために欠席した者が、所定の証明書を添えて欠席届を提出した場合は、欠席時数について考慮される場合があります。

②病気、忌引、その他やむを得ない理由のため欠席する場合は、所定の様式の欠席届に診断書又は証明書を添えて事務室に提出してください。

6) 試験

①試験は、定期試験を原則とし、学期末及び各クォーター末に日時を決めて行われます。

②定期試験の時間割は、実施期間の事前に公示されます。

③学期末及び各クォーター末の定期試験のみでなく、学期及び各クォーターの間にも

試験やレポート提出等が行われることがあり、評価の対象となります。

- ④出席状況が不良の場合は、受験資格が与えられない場合があるので欠席しないようにしてください。
- ⑤試験についての詳細は、教務内規を参照してください。

7) 受験上の注意

- ①受験者は、監督教員の指示により着席し、学生証を机上右上側においてください。
なお、学生証を忘れた場合は、試験開始前に事務室で仮学生証を発行してもらってください。
- ②答案用紙は、専攻名、履修番号、氏名を記入し、試験室から持ち出さないようにしてください。
- ③下敷きの使用は認めません。
- ④試験中は、鉛筆、消しゴム、その他のものの貸借を禁止します。
- ⑤試験開始後20分以上遅刻した者は、原則として受験を認めません。また、試験開始後20分以内は退出することはできません。
- ⑥不正行為と見なされるような態度をしないように注意してください。
- ⑦不正行為が発覚した場合、学則及び本学科の教務内規により処分を行います。
- ⑧試験室内では、監督者の指示に従ってください。

8) 追試験・再試験

- ①定期試験を欠席した場合は、追試験願を提出し、受験の許可を受けなければなりません。病気の場合は医師の診断書等、その他の場合は証明書あるいは理由書を添付しなければなりません。
なお、本人の不注意による時間間違いや寝過ごし等では、追試験は認められません。
- ②定期試験又は追試験の結果、不合格となった科目について、再試験を行うことがあります。
- ③追試験及び再試験については、教務内規を参照してください。

9) 再履修

- ①試験等の結果、不合格となった必修科目については、再履修をしなければなりません。
しかし、再履修するのは、時間割上非常に困難で、卒業が延期になることもあります。
- ②選択科目が不合格となった場合は、他の選択科目に替えて履修することができます。

10) 成績の発表

定期試験の成績発表は、各期とも発表準備が整い次第掲示等によりお知らせしますので、学務情報システム「NU-Webシステム」にて各自の操作のもと確認してください。
なお、成績発表後、試験結果に疑義がある場合は、1週間以内に事務室に申し出てください。

7. 長崎大学ナンバリング・システム

長崎大学ナンバリング・システムとは、長崎大学で開講されているすべての授業科目（教養教育科目・学部専門科目・大学院専門科目等。旧カリキュラム科目は除く）に対し、授業内容・レベル等に応じて特定の記号や数字を付与し、教育課程表やシラバスに記載することにより、体系的な教育プログラムの実現を目指す方法のことです。

1) 長崎大学ナンバリング・システムの統一フォーマット

長崎大学の全授業科目には、以下のような統一した形式でナンバーが付されています：



表示例

教養教育科目 教養ゼミナール
GEFY 11111 (通常表示)
GEFY 11111_001 (詳細表示)

授業科目に付けた記号や数字（学部等コードから枝番まで）を「科目ナンバー」と言います。例えば、教養ゼミナールの科目ナンバーは GEFY 11111 や GEFY 11111_001 となります。

【学部等コード】（表 1 参照）

科目を提供する学部や研究科等を表す 2 文字の英文字です。

【領域/プログラムコード】（表 1 参照）

科目を提供する学部等のカリキュラム体系上の大きな区分を表す 2 文字の英文字です。

【水準コード】（表 2 参照）

科目の授業のレベルを示す1桁の数字です。数字と学年は必ずしも一致するものではありません。

【識別コード】

「領域/プログラムコード」で大きく区分された科目群を更に識別するための 3 桁の数字です。学部・研究科ごとに独自の規則で識別コードが付けられています。

保健学科では、下記の規則で識別コードを付けています。

科目群	専攻	識別コード	
学部モジュール I		000～049	
学部モジュール II		050～099	
共 修	3 専攻共修	100～199	
	2 専攻共修	200～299	
講演	看護学専攻	講義	300～349
		演習	350～399
	理学療法学専攻	講義	400～449
		演習	450～499
	作業療法学専攻	講義	500～549
		演習	550～599
臨地実習 臨床実習	共 修	600～699	
	看護学専攻	700～799	
	理学療法学専攻	800～899	
	作業療法学専攻	900～999	

【使用言語コード】(表 3 参照)

その科目の授業中に使用される言語を表す 1 桁の数字です。

【学問分野コード】(表 4 参照)

授業科目の内容を学問分野という立場から見たとき、どのように分類されるかを示す 3 桁の数字です。

【枝番】

同一科目であるにも関わらず、クラスにより、履修内容が大幅に異なり、区別する必要があるときには、枝番で区別することがあります。枝番は 1 桁の英数字です。

2) 長崎大学ナンバリング・システムの特徴

国際通用性

- 1) 海外の大学の代表的なナンバリング・システムと類似のフォーマットにしています。
- 2) 海外の多くの大学と同様の授業レベル表記(水準コード)としているため、海外から来る留学生や本学から海外へ留学する学生にとって、授業のレベルを比較しやすくなります。
- 3) 外国語による授業科目を使用言語コードから判断できます。

識別コードと学問分野

識別コードと学問分野を別々に区分したため、授業科目の履修体系上でのおよその位置づけが一目で識別でき、また講義内容がどの学問分野であるのかを把握できます。

3) ナンバリング・システムの活用方法

表 1, 表 2, 表 3 で, 記号や数字の意味することを理解した上で, 便覧等に示された学部や研究科ごとの科目ナンバー付与規則を理解してください。慣れてくると, 科目ナンバーを見るだけで, カリキュラム体系上どのような位置づけの科目であるか分かるようになります。

識別コードは, 科目群の区分や履修順序の意味を込めるなど学部や研究科ごとに工夫されていますので, 科目選択や履修順序を判断する際に利用してください。

シラバスに履修の前提とする科目が科目ナンバーで記載されている場合があります。そのときは, NU-Web の検索機能でどのような科目であるか調べてください。

専門的な学習を行うようになったら, 科目ナンバーの学問分野コード (表 4) からその科目の学問上の位置づけを把握することで, 履修科目の体系に関する理解が更に深まります。

表 5 は各学部・研究科等の科目ナンバーの一覧です。他学部等の科目ナンバーを調べるときに利用してください。

表 1 (抜粋)

学部等コード (AB)		領域/プログラムコード (CD)		
医学部 保健学科 School of Health Sciences	HE	保健学科	学部モジュール科目	MC
			共通	HE
			看護学専攻	NS
			理学療法学専攻	PT
			作業療法学専攻	OT
			理学・作業療法学専攻共通	PO

表 2

0 : 卒業要件外科目 (大学入学前に修得する内容の科目, リメディアル科目, 卒業要件外授業科目)	
1 : 学部専門科目 (入門的内容の科目), 教養教育科目 (語学上級科目, 高年次対象科目を除く)	学部科目
2 : 学部専門科目 (基礎的内容の科目), 教養教育科目 (語学上級, 高年次対象科目)	
3 : 学部専門科目 (発展的内容の科目), 教養教育科目 (高年次対象科目)	
4 : 学部専門科目 (卒業論文・卒業研究関連科目, 医・歯・薬 5~6 年科目)	
5 : 大学院 (修士・専門職) 専門科目 (基礎的な内容の科目), 大学院共通授業科目	大学院科目
6 : 大学院 (修士・専門職) 専門科目 (発展的な内容の科目, 研究指導科目)	
7 : 大学院 (博士) 専門科目 (研究指導科目を含む)	
9 : その他 (海外への留学を内容とするもの, レベル分けが出来ない科目など)	

表 3

1 : 日本語で行う授業	6 : ドイツ語で行う授業
2 : 英語で行う授業	7 : フランス語で行う授業
3 : 日本語と英語のバイリンガル授業	8 : オランダ語で行う授業
4 : 中国語で行う授業	9 : 日本語と英語以外の外国語のバイリンガル授業
5 : 韓国語で行う授業	0 : (予備)

表 4

分野	番号	分野	番号
教養教育・基礎教育 学士課程連携科目	000 ~ 099 詳細 pdf	総合理工	431 ~ 461 詳細 pdf
情報学	101 ~ 135 詳細 pdf	数物系科学	471 ~ 511 詳細 pdf
環境学	140 ~ 163 詳細 pdf	化学	521 ~ 544 詳細 pdf
複合領域	165 ~ 262 詳細 pdf	工学	551 ~ 616 詳細 pdf
総合人文社会	271 ~ 285 詳細 pdf	総合生物	621 ~ 661 詳細 pdf
人文学	291 ~ 351 詳細 pdf	生物学	671 ~ 692 詳細 pdf
社会科学	361 ~ 424 詳細 pdf	農学	701 ~ 773 詳細 pdf
		薬学看護学	781 ~ 855 詳細 pdf
		医学歯学	901 ~ 993 詳細 pdf
		その他	999 詳細 pdf

表 5

学部等	科目ナンバー	研究科	科目ナンバー
教養教育	一覧 pdf		
多文化社会学部	一覧 pdf		
教育学部	一覧 pdf	教育学研究科	一覧 pdf
経済学部	一覧 pdf	経済学研究科	一覧 pdf
医学部医学科	一覧 pdf	医歯薬学総合研究科	一覧 pdf
医学部保健学科	一覧 pdf	国際健康開発研究科	一覧 pdf
歯学部	一覧 pdf	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	一覧 pdf
薬学部	一覧 pdf		
工学部	一覧 pdf	工学研究科	一覧 pdf
環境科学部	一覧 pdf	水産・環境科学総合研究科	一覧 pdf
水産学部	一覧 pdf		

※各科目の授業ナンバー及び学問分野番号の詳細は、長崎大学ホームページに掲載されます。

8. 履修手続の方法

長崎大学では、専門教育及び教養教育ともに学生の履修・成績・学籍等の管理を行う電算システムとして、インターネットでのWEBを使用した学務情報システム「NU-Webシステム」を稼働しています。

1) 履修登録

学生各人が、パソコンにより、各自の操作のもと履修登録及び確認を行います。

システム操作のマニュアルは、長崎大学ホームページ（<http://www.nagasaki-u.ac.jp/>）及び学部掲示板で案内しています。

なお、履修登録が正確になされないと、授業に使用する受講者名簿への反映や試験成績の登録等ができませんので、確実な登録が必要です。

2) 履修登録期間（具体的な期日は各学期に掲示にてお知らせします。）

前期 3月下旬～4月中旬の指定された期日

後期 9月下旬～10月中旬の指定された期日

履修登録期間を過ぎると操作ができなくなります。登録期間を厳守してください。

9. 既修得単位の認定

本学に入学する前に、大学又は短期大学等を卒業もしくは中途退学した者、又は科目等履修生（大学設置基準第31条）であった者が、第1年次に入学し、その大学等において修得した単位を教育上有益であると認めるときは、本学の授業科目の履修とみなし、単位を与えることがあります。

また、大学等以外の教育施設等において学修したものについても、教育上有益であると認めるときも本学の授業科目の履修とみなし、単位を与えることがあります。

認定を希望する者は、所定の期日（入学式後の学部オリエンテーションの日）までに保健学科事務室で次の提出書類を提出してください。従って、入学手続後、直ちに保健学科事務室で申請の手続方法について説明を受けてください。なお、教養教育科目については、教養教育事務室で所定の手続を行ってください。

①認定する授業科目及び単位は、専門基礎科目及び他専攻開放科目の授業科目及び単位とし、認定単位は10単位以内とします。

②提出書類

- i 既修得単位認定申請書
- ii 卒業又は中途退学した大学等の成績証明書（単位記載のもの）
- iii 単位認定を受けようとする授業科目のシラバス又は授業内容を記載したもの

③認定された授業科目及び単位については、既修得単位認定通知書を交付しますので、確認してください。なお、認定された既修得科目の成績は「認」と記載し、評価ポイントは「B」として取り扱いますので、考慮して申請してください。（授業料免除及び日本学生支援機構等の学業成績基準を決定する場合の学力評価ポイントとなります。）

10. 学生生活関連事項

1) 諸手続について

願い届出等の手続きについては、下記の表を参考にしてください。手続場所や窓口を確かめて手続を行ってください。よくわからない場合には、本学科事務室に相談してください。

種 類	申込方法・提出期限等	手続窓口等
在学証明書 卒業見込証明書 旅客運賃割引証	証明書自動発行機	保健学科事務室横
卒業証明書 成績証明書 通学証明書※ その他の証明書	発行希望日の3日前までに発行願により申し込むこと。 ※ 通学定期乗車券を購入する際に提出する必要があるもの。	学務課（保健学科）
休学願	引き続き2か月以上修学を中止する場合、開始日の1か月前までに手続きを行うこと。	
復学願	休学期間満了又は休学理由がなくなった場合、復学日の1か月前までに手続きを行うこと。	
退学願	退学日の1か月前までに手続きを行うこと。	
学生住所届 学生住所変更届 保証人変更届 改姓届	4月 理由が発生したとき。 理由が発生したとき。 理由が発生したとき。	
欠席届	病気・忌引等で授業を欠席するとき。	
海外渡航届・帰国届	渡航日の1か月前までに提出すること。 帰国届は帰国後速やかに提出すること。	
施設使用願	実施日の5日前までに提出すること。	
掲示物	掲示の許可を受けること。	
学生証再交付願	紛失又は期限切れのとき。（紛失の場合は有料）	
授業料免除申請 日本学生支援機構奨学金	掲示等により案内 掲示等により案内	学生支援センター
各種奨学金	掲示等により案内	指定された窓口

2) 学生への諸連絡等

(1) 掲示板

学生に対する連絡や通知は、原則として1階の掲示板により行います。

授業や試験等の教務事項、奨学生の募集・授業料免除申請及び学生への個別の連絡事項（学生呼び出し）等は、すべて掲示により通知しますので、登校及び下校の時、1日2回は必ず掲示板を見る習慣を身につけ、学生生活に支障がないように注意してください。

(2) 講義室及び実験・実習室等の整備

講義室及び実験・実習室等の黒板、机、椅子、設備・備品等は、きれいに大切に使用してください。

(3) 遺失物・拾得物

学内での遺失物は、事務室又は1階廊下の保管庫に保管しています。心当たりのものがあつた場合は事務室に問い合わせてください。また、遺失物を発見した場合は、事務室に届けてください。

なお、所持品の保管については、各自十分に注意してください。

(4) 郵便物の受け渡し

学生団体又は学生あての郵便物があつた場合は、その都度掲示しますので、事務室まで受け取りにきてください。

(5) 電話照会

学生からの電話による照会には、間違いを防ぐ意味から回答を行っていません。また、電話で学生呼び出しの依頼があつても、呼び出しは行いませんので、関係者へも知らせておいてください。ただし、緊急の場合には、この限りではありません。

(6) 住所変更届・身分異動

転居・改姓または保証人等に関して、入学時又は学年始めに提出した書類の内容に変更が生じた場合は、必ずその都度事務室に届けてください。この届出を怠ると、本人又は保証人に緊急な連絡事項がある場合に連絡がとれず、不利益な結果を生じることがあります。

3) 授業料免除制度

授業料免除は、前期・後期ごとに納入すべき授業料の全額又は半額を免除する制度です。手続方法や出願資格については、その都度掲示等によりお知らせします。免除希望者は、期限までに必要書類を添えて出願してください。

授業料免除に関する規定等は学生支援部発行の「学生生活案内」（入学時のオリエンテーションで配付）を参照してください。

なお、出願志望者は、学生支援センターの窓口でよく相談してから出願してください。

4) 奨学金制度

日本学生支援機構をはじめ、地方公共団体や各種奨学団体の奨学金を取り扱っています。奨学金を希望する人は、学生支援部発行の「学生生活案内」（入学時のオリエンテーションで配付）の関係する項目を参照してください。諸手続は、学生支援センターの

経済支援コーナーへ申し出てください。

奨学金についての詳細は、学生支援部発行の「学生生活案内」（入学時のオリエンテーションで配付）を参照してください。

なお、本学科の各専攻等を対象とした奨学金の募集があった場合は、その都度掲示でお知らせします。

5) 諸証明書の発行

①各種証明書が必要となった場合は、1)の表を参考にして手続してください。

事務室の台帳で申し込む証明書は、必要とする3日前までに必ず記載してください。当日に申し込んでも発行はできません。

②通学証明書は、鉄道、バス、電車を利用する人に対し、定期券購入のため証明書が必要な際、自宅（下宿等）最寄り駅間に限り発行します。

なお、課外活動のため、文教地区キャンパスまで電車を利用する場合や、臨地・臨床実習のため、臨地・臨床実習施設の最寄りの駅と下宿等との最寄りの駅間を鉄道等利用する場合についても通学証明書を発行します。

③実習のための定期券発行は、「実習用通学証明書発行願」により申し込んでください。

なお、実習のための定期券の発行には利用交通機関からの承認が必要です。約2週間かかりますので、早めに申し込んでください。

6) 団体及び集会

①学内において、団体（サークル等）を組織しようとするときは、あらかじめ、顧問教官を定め、「長崎大学における学生の課外活動手続規程」に基づき、所定の様式に、団体設立の趣旨及び目的を明らかにした規約と団体員名簿を添え、学生支援センターに届け出て、学長の承認を受けてください。

②団体規約その他の出願事項を変更しようとするときは、所定の手続をして承認を受けてください。

③団体承認の有効期間はその年度限りですので、継続を希望する団体は、5月末までに更新願を提出してください。更新願が提出されない団体は、解散したものと取り扱われます。

④学生又は団体が、集会等を行うときは、3日前までに所定の様式で届け出てください。

7) 時間外学習・研究について

大学内における学生の安全確保等の観点から、学生の時間外学習・研究については次のとおりとなっています。

①平日の午後10時から翌日の午前6時まで、原則として研究室、自習室等の学習・研究に利用する施設（以下「施設等」という。）の利用は禁止です。

②教員のいない土・日・祝日、その他休業日等も、原則として終日、施設等の利用は禁止です。

③上記①、②の禁止時間帯に学生がやむを得ず利用する場合は、事前にLACSまたは申請書により指導教員等に申請して許可を得てください。

8) 施設の使用

- ①学生が本学科所管の施設を使用しようとするときは、使用の5日前までに、所定の様式の施設使用願を事務室に提出して許可を受けてください。なお、本学（文教地区等）の施設を使用しようとするときは、学生支援センターに所定の様式の施設使用願を提出して許可を受けてください。
- ②使用の許可を受けた学生は、本学職員の指示に従ってください。
- ③施設の使用許可後においても、公務のため差し支えが生じたときは、許可を取り消すことがあります。
- ④故意又は過失により設備及び備品等を破損したり、汚損した場合は、原状回復に必要な経費を弁償しなければなりません。
- ⑤体育館を使用する場合は、事務室に申し出て所定の様式で使用許可を受けてください。使用時間は、平日（長期休みを除く）（17：00～21：00）・休日（9：00～21：00）です。
なお、「体育館使用心得」を遵守してください。
- ⑥学生食堂施設を使用する場合は、事務室に申し出て所定の様式で使用許可を受けてください。使用時間は、原則として使用後の整理、清掃を含めて21：00までです。なお、厨房内への立ち入りを禁止します。

9) ロッカー室の使用について

ロッカー室は、1階に設置してあり、在学期間中、個人ロッカーを貸与します。なお、使用に当たっては次の点に留意してください。

- ①ロッカーの鍵を万一、破損・紛失した場合は、事務室へ届けてください。なお、鍵等の新調・修理は、自己負担です。
- ②ロッカーの管理は各自で行うこととなりますが、盗難防止のために貴重品はロッカーに入れず常時身につけておいてください。なお、盗難等の被害にあっても大学側は補償の責任を負いません。
- ③ロッカーには、発火性のもの、臭気を発するもの等他人に迷惑をかけるようなものを収納しないでください。なお、危険を伴う等緊急の場合は、大学側でロッカーを開け、当該物品を排除する等の処置をとることがあります。
- ④退学及び卒業の際は、ロッカーの明け渡しと鍵の返却を行ってください。

10) 304講義室 利用上の注意

講義が行われていないときは自由に利用できます。レポート作成、電子メールやインターネットを利用しての情報収集および就職に関する情報収集などに活用してください。

利用時には下記の注意事項を守って、トラブル予防に心がけてください。パソコンの使用中にトラブルが発生したときは速やかに管理者へ連絡してください。

（304講義室 利用上の注意事項）

・飲食禁止

室内やパソコンが汚れるだけでなく、水分によってパソコンが壊れたりキーボードが動

かなくなったりする恐れがありますので、飲食は厳禁です。

- 喫煙

喫煙を発見した場合は厳重に処罰します。

- 携帯電話

他の利用者の迷惑になります。携帯電話を使用する際は速やかに退室して下さい。

- ゲーム禁止

大学のパソコンは教育機材であり、学習のためのものです。

- ネットサーフィン

は程々に他の利用者の通信に負担をかけることがあります。

- 混雑時の長時間使用禁止

混雑時の長時間使用は他の利用者の迷惑になりますので、遠慮してください。

- パソコン使用時の注意

パソコンの使用が終わったら掲示されている方法にしたがって電源を切ってください。

いきなり電源ボタンを押すと壊れる可能性があります。ディスプレイ画面に触れないようにして下さい。指紋がつき画面が見にくくなります。

- 設定変更の禁止

パソコン内のファイル、プログラムの変更は行わないでください。インターネットブラウザでのダウンロード、CD-ROM、フロッピー等によりパソコン内のファイル、プログラムを更新しないでください。導入済のプログラムが動かなくなります。

- 個人ファイルの管理

個人のファイルは自分で管理すること。個人のファイルは必ず自分のフォルダに保存して下さい。

- プリンタ利用時の注意

プリンタは複数の端末で共有しています。出力する時は周囲の状況を確認してください。

プリンタの用紙は各自準備してください。紙がつまり対処できなくなったり動かなくなった時はそのまま放置せず管理者へ連絡してください。

11) インターネット利用上の注意

ICT基盤センター（以下「センター」という。）ではネットワーク利用のための学生用IDを交付しています。このIDは情報処理教育のみならずネットワークを利用するために不可欠なものです。学生証が配付された時点でIDとパスワードが確認できます。

(1) ネットワークを利用してできること

ネットワークの主幹は長崎大学学内LANへ接続されており、電子メール、World Wide Webによる情報検索、ネットニュースなどインターネットによる情報収集ができます。「長崎大学ICT基盤センター」のWeb Site (<http://www.cc.nagasaki-u.ac.jp>) を参考にしてください。

(2) インターネット利用上の注意事項

① パスワードを厳重に管理する。

IDとパスワードは、ネットワークシステムにあなたが「あなた自身であること」を証明するもので、キャッシュカードの暗証番号と同じくらい非常に大切なものです。他人のIDとパスワードを使用したり、自分のIDとパスワードを他人に使用させるこ

とはできません。

②コンピュータウイルスに注意する。

コンピュータウイルスに感染すると、パソコンのシステムやファイルが壊れるなど、深刻な被害が出ます。電子メールに添付されたファイルを安易に展開しない、怪しいWeb Siteからファイルをダウンロードしない、などに心がけてください。

コンピュータウイルスについては、下記のWeb Siteを参考にしてください。

IPAウイルス対策室 <http://www.ipa.go.jp/security/index.html>

③ネチケット（ネットワーク利用上のエチケット）を心がける。

複数の人に転送を要請する不幸／幸福の手紙といったチェーンメールはもちろん、安易に必要なのないメールを送ったり転送したりすることは、必要な情報のやりとりをするという本来の利用を妨げ、相手に迷惑なメールとなります。また、ネットワークにも不要な負荷がかかり、その機能を阻害しますので、注意してください。電子メールを利用する際は、著作権侵害や、他人を罵倒／誹謗／中傷するような内容は書かないようにしましょう。ネチケットについては、下記のWeb Siteを参考にしてください。

インターネットを利用するためのルール&マナー集(財団法人インターネット協会)

<http://www.iajapan.org/rule>

ネチケットホームページ

<http://www.cgh.ed.jp/netiquette/>

12) 海外渡航

海外に渡航する場合は、海外渡航システムに登録後、所定の海外渡航届を印刷し、指導教員の承認を受け事務室に提出してください。なお、帰国したときは、所属専攻の主任及び事務室に報告してください。

また、海外渡航をする場合は、下記の外務省の「海外安全ホームページ」を参考にし、安全な渡航計画を立ててください。<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

13) 自動車等による入構

保健学科は駐車スペースが狭いため、学生の自動車による通学を禁止しています。ただし、特別の事情がある場合のみ、許可することがあります。

バイクの入構は許可しますが、所定のバイク置場に駐車することを義務づけています。

14) 事故等の報告

学内外を問わず、万一に傷害や交通事故等の事故または事件に遭ったときは、必ず所属専攻の主任及び事務室に届け出てください。

学生教育研究災害傷害保険等の手続を行う場合もあります。

15) 喫煙

長崎大学医学部は、屋外も含め敷地内全面禁煙です。絶対に喫煙はしないでください。

1 1. 保健学科図書室の利用

1) 設置場所

ロビー側エレベータ横

1F/2Fの2層式になっており入室は2Fからのみです。

2) 開室時間

月・火・木・金曜日 8:45～20:00, 水曜日 8:45～18:00

土曜日 9:00～18:00

(都合により閉室する際は掲示にて通知) 閉室時は図書室前に返却ポスト設置

* ただし、日曜日、祝日、8月特別休業日(お盆)、12月29日～1月3日(年末年始)は入室しません。

3) 入室

教科書、参考書、ノート、筆記用具、PC以外は持ち込めません。

鞆、バッグ等は**コイン返却式ロッカー等**に入れて入室してください。

4) 閲覧

備え付けの図書、雑誌等は、自由に閲覧できます。ただし、使った後は必ず元の位置に納めてください。わからない時は、カウンターに返してください。

5) 貸出

冊数は一人3冊まで、期限は2週間です。中央図書館・医学分館とは冊数が異なる

① 手続: **学生証**と貸出希望図書(視聴覚教材はクリアカードケース)を提出してください。**貸出業務がキーボード入力のため入力ミス防止のため必ず学生証を提示**

② 辞典、事典、辞書、文献集等禁帯出ラベル貼付図書及び雑誌は貸出しできません。但し、コピー室(学科等のカードによるコピー用)及び授業・チュートリアル室等への一時貸出(当日返却)は可能ですのでカウンターにて持ち出し手続を行ってください。返却時にチェックを受けたのち書架へ戻してください。**返却チェック無しに直接書架に戻さない。返却ポストへの返却は不可。学科等のコピーカードを利用して図書室外でコピーをする際はこちらの手続きが必要。**

長期貸出・・・事前に1Fロビー及び図書室にて掲示

夏/冬季休暇貸出 期間中+前2週間+後1週間

実習中長期貸出 3年PT, OTは実習期間中+前2週間+後1週間

Ns.は[成人・精神・地域]の実習期間希望学生対象貸出日より1ヶ月

6) 返却

借用図書を提出し、**学生番号**を申し出てください。学部生「2051～8桁」院生「5521～8桁」**注意**:借用図書は、本人が責任をもって返却してください。

返却の際、図書は直接書架に戻さず**必ずカウンターへ返してください**。司書不在時は

学生番号を記載したメモを返却図書にはさみカウンターに

閉室時は、入口前に設置してある返却ポストへ入れてください。（延滞図書不可）

附属図書館・医学分館図書の貸出、返却について

図書館と図書館は相互連絡可、図書館と図書室は不可

附属図書館・医学分館にて貸出の場合・・・附属図書館・医学分館どちらにも返却可能ですが保健学科図書室に返却はできない。

保健学科図書室にて貸出の場合・・・附属図書館・医学分館どちらにも返却はできません、必ず保健学科図書室へ返却。

7) 延滞及び紛失

返却日を超過した図書がある場合は、返却後でなければ貸出利用はできません。

1ヶ月以上の延滞者は返却の際、図書室担当教官の承認印を受けた期限厳守の誓約書を提出していただきます。誓約書提出対象学生は図書室前白板に表示の上直接電話にて督促、臨床実習前など注意。また、紛失の際は速やかに申し出てください。一定期間を過ぎても図書が見つからない場合は、現物弁償となります。

8) 学生用パソコン

6台の学生用パソコンが設置されています。これは文献及び蔵書検索専用のものです。授業の課題等の利用はソフト(Excel/Word/PP etc...)が入っていませんので利用できません。

文献検索・所蔵検索等はPCで、入手希望資料が大学未所蔵の場合は学外に依頼、**坂本地区以外**は取り寄せ可能だが受付は医学分館。

長崎大学附属図書館 HP Top

国立大学法人 長崎大学 附属図書館
Nagasaki University Library

English サイトマップ 長崎大学

当館について About 資料を探す Search 図書館を使う Use 学外の方へ for Visitors 交通アクセス Access Webサービス Online Service

蔵書・文献検索 NU Search
図書館の蔵書・電子ジャーナル・電子ブック・データベース・NAOSITEをまとめて検索できます。
検索

OPACのみ検索

データベース データベース 電子ジャーナルリンク集 電子ジャーナルリンク集

開館時間 Library hours 2016年09月30日 (金)

【中央図書館】
<本日>8:30-22:00 <明日>8:30-22:00
【医学分館】
<本日>8:30-22:00 <明日>8:30-22:00
【経済学部分館】
<本日>8:30-22:15 <明日>8:30-22:15

お知らせ News

09月28日 附属図書館ホームページリニューアルのお知らせ
09月26日 「モダン長崎の時代」展を開催中（中央図書館ギャラリー）
09月26日 JCRおよびEndNoteBasic利用講習会開催のお知らせ
09月26日 ScopusおよびMendeley利用講習会開催のお知らせ
09月18日 【医学分館】（9/19・月）台風接近による開館時間の短縮について

以前のニュースへ

リンク Link

Digital Collection 電子化コレクション NAOSITE CiNii Scopus 長崎大学図書館ブログ

長崎大学蔵書検索 OPAC

長崎大学附属図書館OPAC

簡易検索 | 詳細検索 | 新着図書 | 新着雑誌 | 雑誌一覧 | 貸出ランキング | MyLibraryログイン [学内専用]

簡易検索画面

資料区分 : 全資料(特集記事検索を除く)
 図書 雑誌 電子ブック 視聴覚資料 雑誌特集記事

和洋種別 : すべて 和書のみ 洋書のみ

検索対象地区 : すべて 文教地区 坂本地区 片瀬地区 図書館

フリーワード :

表示順/表示件数 : を で表示 件/ページ

【検索のコツ】

- 単語と単語の間は、スペースを入れてください
 例) 有機[スペース]化学 ⇒ 「有機」と「化学」を含むものがヒット
- そのまま入力すると前方一致検索になります
 例) 有機化学 ⇒ 「有機化学」で始まるものがヒット
- 外国人著者の場合、原綴で入力すると検索漏れが少なくなります(姓だけでも可)
 例) △ チャールズ ディケンズ ○ Charles Dickens ○ Dickens

長崎大学蔵書検索 OPAC 「所在表記」について

従来表記	所在場所
「阪本地区 保健学科図書室」	「保健学科図書室」
「阪本地区 医学保健理学療法」	「保健学科理学療法学専攻教官研究室」
「阪本地区 医学保健作業療法」	「保健学科作業療法学専攻教官研究室」
「阪本地区 医学保健看護学」	「保健学科看護学専攻教官研究室」
「阪本地区 医学部保健学科」	「保健学科理学療法学専攻教官研究室」 「保健学科作業療法学専攻教官研究室」 「保健学科看護学専攻教官研究室」 いずれかの研究室

各教官研究室所蔵の場合は保健学科図書室カウンターまで、図書館 HP に表記されません。

【図書詳細情報画面】保健学科所蔵資料 OPAC「所在」表記

opac.lib.nagasaki-u.ac.jp

長崎大学附属図書館 OPAC

簡易検索 | 詳細検索 | 新着図書 | 新着雑誌 | 雑誌一覧 | 貸出ランキング | MyLibraryログイン [学内専用]

図書詳細情報

よくわかる筋肉・関節の動きとしくみ: 人体の「動き」のメカニズムを図解で学ぶ!: 身体運動の不思議 / 中村和志著

タイトルのヨミ: ヨク ワカル キンニク・カンセツ ノ ウゴキ ト シクミ: ジンタイ ノ 「ウゴキ」 ノ メカニズム オ スカイ デ マナブ!: シンタイ ウンドウ ノ フシギ

出版事項: 東京: 秀和システム, 2010.3

シリーズ名: [How-nual図解入門](#) || [How nual スカイ ニュウモン](#) <BA52047088> //a

I S B N : 9784798025322

著者標目形: [中村, 和志](#) || [ナカムラ, カズシ](#) <DA17091962>

Webcat Plus 検索 CINii Books を検索

所蔵情報

巻号	所在	請求記号	図書ID	資料状態(予約数) 返却予定日	予約・取寄
	坂本地区 医学保健理学療法	491.367 N37	2141584	研究室貸出	

opac.lib.nagasaki-u.ac.jp

長崎大学附属図書館 OPAC

簡易検索 | 詳細検索 | 新着図書 | 新着雑誌 | 雑誌一覧 | 貸出ランキング | MyLibraryログイン [学内専用]

図書詳細情報

福祉現場で役立つ子どもと親の精神科 / 金井剛著

タイトルのヨミ: フクシ ゲンバ デ ヤクダツ コドモ ト オヤ ノ セイシンカ

出版事項: 東京: 明石書店, 2009.9

I S B N : 9784750330556

著者標目形: [金井, 剛](#) || [カナイ, ツヨシ](#) <DA16775769>

Webcat Plus 検索 CINii Books を検索

所蔵情報

巻号	所在	請求記号	図書ID	資料状態(予約数) 返却予定日	予約・取寄
	坂本地区 医学部保健学科	367.6 Ka44	2145128	研究室貸出	
	坂本地区 保健学科図書室	367.6 Ka44	2147104	研究室貸出	

この「長崎大学蔵書検索 OPAC」には保健学科所蔵の全資料がデータ化されていない。登録後の廃棄が難しいため改訂頻度が高い資料は未登録、また寄贈ジャーナル・紀要・白書等もデータ化されていないものもある。これらについても保健学科図書室カウンターPCにおいて管理しているので「長崎大学蔵書検索 OPAC」「電子ジャーナル」検索後、未所蔵の場合はカウンターで確認を。

貸出状況（返却予定日）は所蔵情報の「資料状態」の欄に表示されるが、この表記対象は附属図書館・医学分館・経済学部分館書所蔵図書のみであり、保健学科に関する資料はすべて「研究室貸出」= 研究室所蔵の意味の表記となっている。これは医学分館から保健学科へ貸出中という状況を表記しているもので、常にこの表記のままとなっている。

保健学科図書室での貸出状況（返却予定日）等はこの HP には反映されない。保健学科での貸出状況については図書室カウンターPCにて管理しており、貸出状況（返却予定日）確認は図書室カウンターまで。

【図書詳細情報画面】保健学科所蔵資料 OPAC「資料状態（予約数）返却予定日」表記

The screenshot shows the OPAC interface for the Nagasaki University Library. The main content area displays the following information for the book '免疫・膠原病・感染症 / 医療情報科学研究所編':

- タイトルのヨミ: メンエキ コウゲンビョウ カンセンショウ
- 出版事項: 東京: Medic Media, 2009.11
- シリーズ名: 病気がみえる / 医療情報科学研究所編 || ビョウキガミエル <BA53319241> v. 6//a
- ISBN: 9784896323092
- 著者標目形: 医療情報科学研究所 || イリョウ ジョウホウ カガク ケンキュウジョ <DA08165682>

Below the book details, there is a table titled '所蔵情報' (Collection Information) with the following columns: 巻号 (Volume Number), 所在 (Location), 請求記号 (Call Number), 図書ID (Library ID), 資料状態(予約数) 返却予定日 (Material Status (Reservation Count) Return Date), and 予約・取寄 (Reservation/Delivery). The table lists five records:

巻号	所在	請求記号	図書ID	資料状態(予約数) 返却予定日	予約・取寄
	文教地区 中央館2F: 開架	492 B99 6	1560570	貸出中 2016/04/08	予約・取寄
	坂本地区 医学分館2F: 図書	492 B99 6	2144069	貸出可	
	坂本地区 医学分館2F: 図書	492 B99 6	2150096	貸出可	
	文教地区 薬学部	492 B99 6	1546141	研究室貸出	
	文教地区 薬学部	492 B99 6	1546142	研究室貸出	

- ・学外文献複写依頼

依頼前に学内所蔵及び電子ジャーナル入手可能かを必ず確認。依頼申込書は保健学科図書室にも有、PCからの依頼申込の場合は事前登録が必要。教官名での文献複写依頼申込の場合実際の依頼者である学生名及びメールアドレスを必ず記入。

電子ジャーナル等の保存用にメモリースティックなどを準備。

電子ジャーナルの利用の注意点

- ・ 大量ダウンロードによる利用停止

同一利用者が、特定の雑誌に掲載された文献の収集を目的として、連続的または断続的に、大量にダウンロードする事は禁止となっている

違反の場合は大学全体の利用停止となる

たとえプリントアウトやファイル保存をしていなくても電子ジャーナルのバナーをクリックした時点でダウンロードとなるのでフルテキスト表示の前にアブストラクト（抄録）が閲覧可能な場合はそれで内容を確認して必要とするもののみフルテキスト表示（ダウンロード）する

9) コイン式コピー機／プリンター

図書室内 1F に設置しております。（他に 1F ロビーにも設置 カラー可）

USB からのプリントは PDF ファイルのみ可

図書館 HP の解説は PC 前に掲示

文献検索ガイダンスは PC デスク，カウンターに設置

10) その他

その他わからないことがあったら係員に尋ねてください。

なお、文教地区には中央図書館，坂本地区には、医学分館並びに病院共同図書室（附属病院 10F 学生は入室不可，資料入手希望の際は医学分館へ）がありますので利用してください。

図書室配置図説明

保健学科図書室・・・保健学科校舎 2F ロビーエレベーター横

入口は 2F から、上下をらせん階段で 1F と通じている

2F

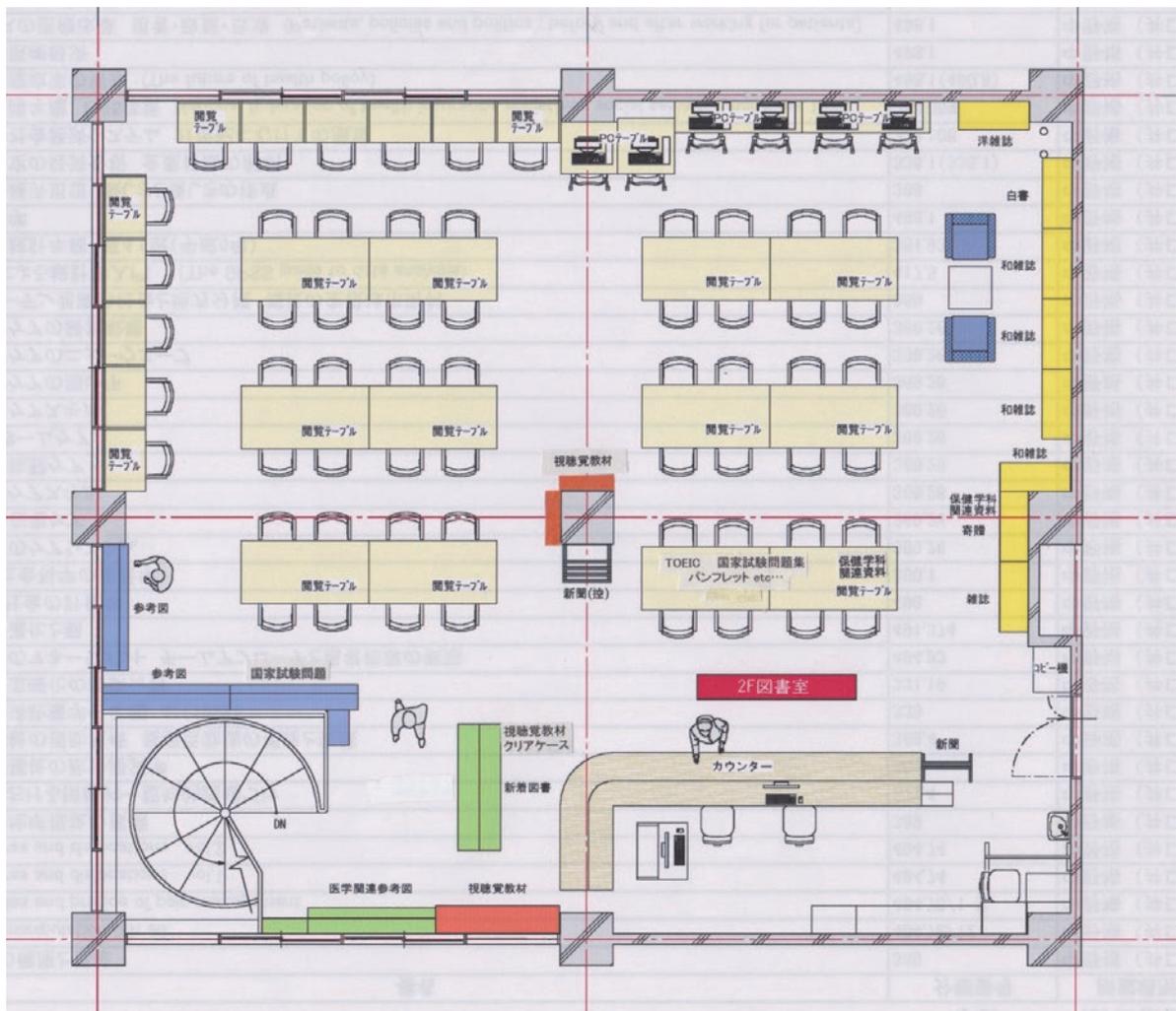
- ・カウンター
- ・閲覧スペース
- ・図書

「本年度購入図書」（前年度以前は 1F）

「辞書等参考資料」

- ・視聴覚教材（閉架キャビネット）**所蔵リスト**・・・カウンター横木製書架（本年度購入図書所蔵書架）設置ツール BOX に、タイトルコピー入クリアカードケースをダミー配架，貸出希望の際はカウンターにクリアカードケースを提示，図書と同様の手続き，実習等長期貸出時には取扱いに注意（高額）
- ・白書・・・PC 閲覧可能なものは購入中止，書架に明記
- ・雑誌・・・前年度まで 2F 雑誌書架に所蔵，以前は 1F 奥雑誌 Back Number スペース
- ・長崎大学医学部保健学科関連資料 「保健学研究」(Web 閲覧可)「卒論」(PT vol.8 2012 より Web 閲覧可)「研究収録等」/国家試験・TOEIC 関連資料(所蔵最新年発行) 2F カウンター前の机に別置 その他の大学，研究機関関係資料は 1F

「保健学研究」(Web 閲覧可)「卒論」(PT vol.8 2012 より Web 閲覧可)「研究収録等」/国家試験・TOEIC 関連資料(所蔵最新年発行) 2F カウンター前の机に別置 その他の大学，研究機関関係資料は 1F



1F 前後で図書・雑誌 Back Number スペースに区別

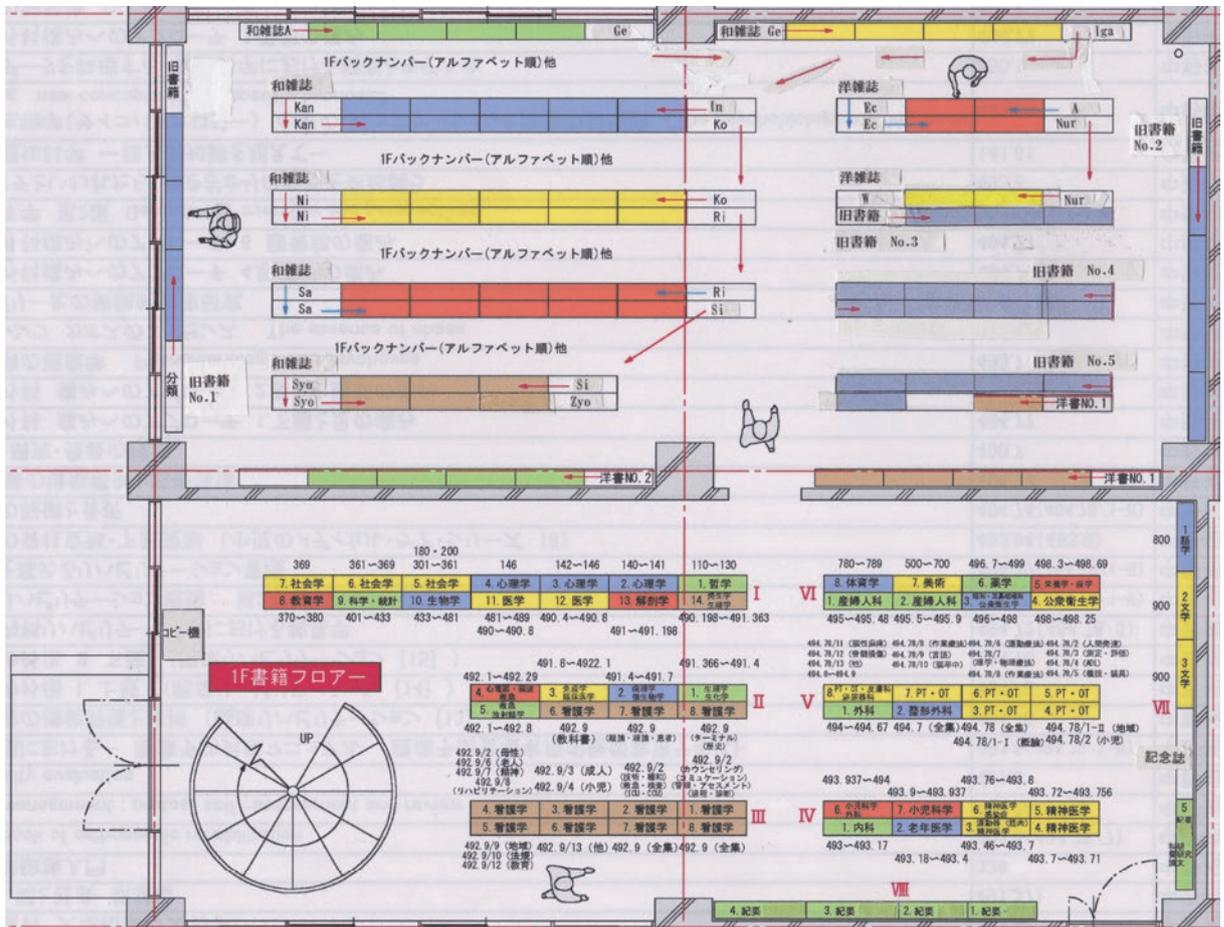
* 図書スペース (手前：螺旋階段側)

- ・ 図書・・・書架 I~VI, VII(1-3)
- ・ 記念誌等・・・書架 VII(4)
- ・ 他の大学, 研究機関関係資料「紀要」「卒論」「研究収録等」・・・書架 VII(5), VIII (発行機関名 アルファベット順 訓令式)

* 雑誌 Back Number スペース (奥：中央壁の向こう側) (アルファベット順 訓令式)

雑誌 Back Number・・・左列及び右列奥壁側書架和雑誌 奥よりアルファベット順
右列洋雑誌 奥よりアルファベット順

- ・ 洋書・・・中央壁側他
- ・ 旧書籍・・・左右壁側及び左列手前より 3 書架



Ns, PT, OT 細分類表

- ・ 専門図書室のため Ns, PT, OT 関連図書が約 3 割を占めそれらの図書を出来る限り利用しやすくなるように Ns, PT, OT 関連図書を独自分類で配架している。場合によっては OPAC 表示の分類番号と異なるのでその際は図書 ID を確認しカウンターへ
- ・ Ns, PT, OT でまとめた上で専門別に配架しているので特定の図書を検索する以外「～に関する」図書という場合は直接書架をたっても簡単に探せる。

保健学科図書室は看護学及びPT・OT関連図書が半数以上を占めるため、それらの図書ができるだけ集中するよう独自分類を設けています。場合によってはOPAC検索による請求番号とは異なる書架に配下されていることもありますので、 図書IDを確認の上カウンターまで

看護学・理学療法学・作業療法学 細分類表

	看護学 492.9		PT OT 494.78
492.9/1	概論／歴史／ホスピス／文学	494.78/1-I, 1-II	リハビリテーション概論 (1-I) 地域／老人(1-II)
492.9/2	管理／過程／診断／コミュニケーション／計画／技術／緩和ケア／救急	494.78/2	人間発達
492.9/3	成人看護	494.78/3	測定と評価
492.9/4	小児看護	494.78/4	ADL
492.9/5	母性看護	494.78/5	義肢／装具／自助具(切断 etc)
492.9/6	老人看護	494.78/6	運動療法
492.9/7	精神科看護	494.78/7	物理療法(理学療法)
492.9/8	リハビリテーション看護	494.78/8	作業療法(感覚統合／精神科)
492.9/9	公衆衛生／地域／訪問／在宅看護	494.78/9	言語／聴覚／視覚
492.9/10	制度／法的責任事項	494.78/10	脳卒中その他の片麻痺(失行／失語／失認)
492.9/11	看護教育	494.78/11	脳性麻痺その他の肢体不自由
492.9/12	調査／研究	494.78/12	脊髄損傷その他の対麻痺
492.9/13	看護のための基礎科学	494.78/13	その他(運動学／工学／レクリエーション／生活環境／嚥下障害)
例:「カラー写真で学ぶ妊産褥婦のケア」		例:「ケースで学ぶ理学療法臨床思考 臨床推論能力スキルアップ」	
			

1 2. 附属図書館医学分館

1 はじめに

附属図書館医学分館は坂本キャンパスの医学部基礎研究棟の前にあります。坂本キャンパスすべての学生、研究者、職員のための図書館です。医学・歯学・保健学等、生命科学とその関連分野の図書や雑誌を中心に所蔵しています。1階には話しながら学習できるラーニングコモンズやグループ学習室、パソコン室、コピー機などがあり、気軽に相談ができるスタッフがいます。2階には図書と、静かに学習するための閲覧席、貴重資料展示室があります。

附属図書館ホームページから利用できるデータベースや電子資料と合わせて活用してください。

附属図書館ホームページ <http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/>

2 開館時間と休館日

開館時間：4月～2月 8：30～22：00（土・日・祝日 10：00～20：00※）
※試験期間中の土・日・祝日は延長する日があります。

3月 8：30～19：00（土・日・祝日 10：00～17：00）

休館日：夏季一斉休業、年末年始。そのほか、停電等で臨時に休館することがあります。開館時間と休館日の詳細は附属図書館ホームページ内の開館カレンダーで確認できます。

3 入館

図書館を利用する時は、学生証が必要です。入口のゲート（左側通行）にタッチして入館してください。忘れたときには、カウンタースタッフに申し出てください。

4 貸出

貸出冊数：1人10冊以内、貸出期間：2週間以内

図書を借りるときは、学生証が必要です。カウンター、またはセルフ式の自動貸出機で借りることができます。

貸出期間内で、他の人の予約が入っていなければ返却日の延長が1回可能です。WebサービスのMy Libraryからでも延長手続きができます。期日までに返却していない図書が1冊でもあれば新たに借りたり、延長したりする事はできません。

返却するときは、図書をカウンターへお持ちください。閉館時は玄関入口に設置してある返却ポストへ入れてください。返却が遅れると、遅れた日数分だけ図書が借りられなくなります。

5 中央図書館・経済学部分館の図書の利用

中央図書館（文教地区）、経済学部分館（片淵地区）の図書館も自由に利用することができます。また、中央図書館、経済学部分館の図書を、医学分館まで取り寄せることができます。医学分館の図書とは別に、それぞれの図書館の貸出ルールで借りることができます。返却するときは、3館のどこに返却してもかまいません。ただし、保健学科図書室では返却できません。

6 視聴覚資料

生命科学関係のDVDなどを約700本所蔵しています。館内のパソコン等での視聴、および館外への貸出（著作権者許諾済DVDのみ）が可能です。

7 学生希望図書リクエスト

自分が借りたい図書が図書館に無いときは、購入をリクエストすることができます。毎年度5冊までリクエストできますので、積極的に利用してください。

[図書館ホームページ](#)→[図書館を使う](#)→[学生用図書リクエスト制度について](#)→[リクエストフォーム](#)

8 レファレンス・サービス(参考調査業務)

学習・研究・調査等に必要な文献や情報を検索する時に、図書館のスタッフがお手伝いをいたします。いつでもお気軽にご相談ください。カウンターのほか、メールや電話でもお問い合わせを受け付けます。個人やグループで、図書館の利用や文献検索についての個別ガイダンスを申し込むこともできます。

9 情報検索・オンラインデータベース

レポートや論文を書く際の資料収集には、蔵書検索（OPAC）のほか、各種のデータベースを利用します。利用方法がわからないときは、お気軽にスタッフにお問い合わせください。

データベース利用講習会も開催しますので、ホームページのお知らせなどをチェックしてください。

蔵書検索（OPAC） <http://opac.lib.nagasaki-u.ac.jp/opac/>

[図書館ホームページ](#) → [\(黄色枠内\) OPACのみ検索](#)

長崎大学に所蔵している図書や雑誌の検索ができます。検索結果から、貸出中の図書の予約や、他キャンパスの図書の取り寄せ依頼ができます。

オンラインデータベース

[図書館ホームページ](#) → [データベース](#)

長崎大学が契約する各種のデータベースや特典付きのデータベースが利用できます。

長崎大学で利用できるオンラインデータベース（一部）

PubMed	医学・生命科学系の世界最大の文献情報データベース
医中誌Web [学内限定]	国内の医学、歯学、薬学及び関連領域の文献情報データベース
Cochrane Library [学内限定]★	Evidence-Based Medicine実践のためのデータベース
最新看護索引Web [学内限定]	日本看護協会図書館による看護文献データベース。『日本看護学会論文集（電子版）』等の全文データも収録
メディカルオンライン[学内限定]★	国内の医歯薬学関連の電子ジャーナルおよび医療機器・くすりのデータベース
今日の診療WEB版 [学内限定]★	『今日の治療指針』『今日の診断指針』などのレファレンスツール13タイトルを利用できるデータベース

★はリモートアクセス可

10 電子ジャーナル

20,000タイトル以上の電子ジャーナル（学術雑誌のWeb版）が利用できます。データベースの検索結果から本文リンクをたどって利用するほか、電子ジャーナルリンク集（学内限定）からも利用できます。

電子ジャーナルの利用にあたっては各出版社等の利用条件や著作権法を遵守してください。データの再配布や大量ダウンロードは固く禁止します。

電子ジャーナルリンク集 ※学内限定

[図書館ホームページ](#) → [電子ジャーナルリンク集](#) 雑誌のタイトルやDOI・PMIDで検索可能

リモートアクセス（学外からの利用）

契約により、学外から利用できる電子ジャーナルやデータベースもあります。

電子ジャーナルリンク集のリモートアクセスのページからご利用ください。

[図書館ホームページ](#) → [電子ジャーナルリンク集](#) → [Remote Access](#)

11 電子ブック

[図書館ホームページ](#)→[資料を探す](#)→[電子ブック](#)

学習や研究に役立つ和洋の電子書籍が多数、オンラインで利用できます。リモートアクセスでも利用できます。

12 Webサービス (My Library)

[図書館ホームページ](#)→[Webサービス](#)→(統合認証)→[各種サービス](#)

学内ネットワーク (Wi-Fi) に接続して利用します。

今借りている本、予約中の図書が確認でき、返却期限の延長もできます。

そのほか、自分の連絡先の登録・変更、お知らせのチェック、文献複写の申し込み、グループ学習室の予約など、いろいろな機能があります。

13 学生用パソコン・長大Wi-Fi

学生用に学内ネットワークが使用できるパソコンを設置しています。

館内では長大Wi-Fiも使用できますので、自分のノートパソコンやスマートフォンから学内のネットワークを使用することができます。

館内に設置しているPCや自分のノートパソコンからプリンターで印刷することもできます (有料)。ネットワーク接続や印刷の仕方がわからないときは、ICTサポートカウンターで相談することができます。

14 ICTサポートカウンター

ICTサポートカウンターでは、パソコンやパソコン周辺機器等に関する相談や質問を受け付けております。

受付時間 平日 9:00~17:00

15 他大学図書館の利用

他大学の図書館から、文献のコピーや図書を取り寄せることができます (実費負担)。はじめての時は医学分館カウンターでおたずねください。

直接訪問して利用する場合で、紹介状が必要な場合はカウンターで申し込んでください。九州地区の他大学図書館は、学生証を提示すると利用できますが、利用したい資料によっては事前の確認が必要な場合があります。詳しくはカウンターで相談してください。

16 館内マップ

「医学分館利用案内」 (三つ折り) をご利用ください。

17 連絡先等

TEL: 095-819-7014 FAX: 095-819-7016 E-mail: medlib@ml.nagasaki-u.ac.jp

1 3 . 健康管理

1) 健康診断

学生は、本学が定期又は臨時に実施する健康診断を受けなければなりません。学生は、健康診断の結果、疾病等が発見された場合は、本学の指示に従わなければなりません。

2) 健康相談

日常の健康の悩みや、問題があったら、保健・医療推進センターに気軽に相談してください。風邪やお腹の調子が悪い場合は、診察の上、薬（無料）を出していますので、利用してください。内科ばかりでなく、婦人科相談、歯科相談日も設けています。対人関係や勉学上の悩み、精神面の悩みも遠慮しないで相談してください。秘密は守られます。

3) 保健・医療推進センターについて

保健・医療推進センターでは、健康診断、健康相談、生活習慣病の予防など、いろいろな支援を行っています。文教地区にある保健・医療推進センターのほか、坂本地区分室が隣接しています。なお、保健・医療推進センターにおける健康診断や健康相談等については、学生支援部発行の「学生生活案内」（入学時のオリエンテーションで配付）の関係項目を参照してください。

4) カウンセラー室（保健学科2階）について

対人関係や勉学上の悩み、精神面の悩みなどがあつたら、遠慮しないでカウンセラーに相談してください。秘密は守られます。

相談日 火曜日：13：00～17：00

木曜日： 8：45～17：00

5) 保健室（保健学科1階）について

具合が悪くなった場合は、事務室へ申し出て保健室を利用することができます。

1 4 . 感染防止対策

本学科の学生は、医療施設や老人施設、障害者（児）施設などで臨地・臨床実習を行います。様々な患者さんが入院しておられる医療施設等の環境には様々な病原体が生息しています。あなたの手指や着衣にその病原体が付着すると他の患者さんに伝播する危険があります。院内（施設内）感染を防ぐために手洗いを励行し、衣服、白衣、予防衣等は常に清潔なものを着用してください。血液、体液、分泌物、排泄物等の扱いには、特に注意してください。針刺し等の事故が発生した場合は、すぐに実習指導者と担当教員に報告してください。

医療施設等には感染防御機能の低下した患者さんが大勢いらっしゃいます。もし、あなたが感染症に罹患すると、あなた自身が感染源となって院内（施設内）感染を起こす危険

性があります。不規則な生活や睡眠不足、偏った食事は、身体の抵抗力を低下させ、感染症に罹患しやすくなるので、健康管理に心がけてください。

本学科では、通常の健康診断以外に次のような感染防止対策を行っています。

1) B型肝炎

HBs抗原、HBs抗体を検査し、陰性者には**B型**肝炎のワクチン接種を勧めています。

2) 小児ウイルス感染症

風疹、水痘、麻疹、ムンプスに関しては、ワクチン接種歴が不十分な者にはワクチン接種追加が必要です。

3) インフルエンザ

全学生に対して流行期の対策として、ワクチン接種を勧めています。特に実習を受ける学生は原則必要です。

4) その他

実習病院（施設）からの要請により、検便、抗体検査、ワクチン接種等が必要な場合があります。

これらは、あなた自身を感染から守り、院内（施設内）感染を防止するために必要なことです。各専攻により実施内容が異なることがありますので、詳細については、適宜掲示板でお知らせします。

15. 学生のための傷害保険等

1) 学生教育研究災害傷害保険

正課中、学校行事中、課外活動中又は通学中における不慮の事故に備えて「学生教育研究災害傷害保険制度」があり、本学では全員加入制をとっています。

この制度については、入学時に「入学関係諸手続案内」に掲載していますが、詳細は学生支援センターの生活支援コーナーでお尋ねください。

なお、この制度の概要については、「学生生活案内」に記載してありますので、参照してください。

2) 学生教育研究災害傷害保険付帯学生生活総合保険

この保険は、臨地・臨床実習中に針刺し事故が発生し、感染の恐れがある場合の予防措置費用及び治療に要する費用、臨地・臨床実習中に患者さんにケガをさせたり、患者さんの物を壊して、賠償責任を負った場合、その他日常生活での不慮の事故によるケガ等に補償される保険です。本学科では、臨地・臨床実習に備えて保険加入（任意）を勧めています。

16. 諸規則

- 1) 長崎大学医学部規程
- 2) 医学部保健学科教務内規
- 3) 医学部保健学科における長期履修に関する申し合わせ
- 4) 医学部保健学科編入学に関する内規

1) 長崎大学医学部規程

平成16年4月1日

医学部規程第1号

(趣旨)

第1条 この規程は、長崎大学学則（平成16年学則第1号。以下「学則」という。）に定めるもののほか、医学部（以下「本学部」という。）の教育に関し必要な事項を定めるものとする。

(学部の目的)

第2条 本学部は、大学教育における基本的教養と専門の基盤となる幅広い知識を修得させるとともに、主体性と豊かな人格を備え、人々の健康、医療及び福祉に貢献できる資質の高い医療従事者、教育者及び研究者を育成することを目的とする。

(学科及び学科の目的)

第2条の2 本学部の学科は、次のとおりとする。

医学科

保健学科

2 学科の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

(1) 医学科は、医学に関する高度の専門的知識と基本的な医療技術を修得させ、自立性と社会性を身につけた医師及び教育者並びに科学的創造性を持った医学研究者を育成することを目的とする。

(2) 保健学科は、医療に関する高度の専門的知識と優れた技能を修得させ、主体性と豊かな人格を備え広く国民の保健医療の向上に寄与し社会に貢献できる資質の高い医療専門職者及び研究者を育成することを目的とする。

(研究医コース)

第2条の3 医学科に、将来の基礎医学を担う研究医を養成するため、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科（医学系基礎研究分野）へ進学する者を対象とした研究医コースを置く。

(研究医コースの所属等)

第2条の4 推薦入試（グローバルヘルス研究医枠）で入学し、研究医プログラムの所属となった者は、原則として、第4年次前期から研究医コースに所属するものとする。

2 一般入試で入学した者及び推薦入試（グローバルヘルス研究医枠）で入学し、研究医プログラム以外のプログラムの所属となった者が研究医コースへの所属を希望する場合は、第4年次前期又は第5年次前期からの所属を許可することがある。

3 研究医コースの履修等に関し必要な事項は、別に定める。

(グローバルヘルス研究医枠入学者のプログラム決定)

第2条の5 推薦入試（グローバルヘルス研究医枠）で入学した者（以下「グローバルヘルス研究医枠入学者」という。）は、入学後、各学生の希望に基づき、研究医プログラム、熱帯医学プログラム、国際保健プログラム又は法医学プログラムのいずれかに配属される。

2 前項の各プログラムの配属希望に大きく偏りがある場合は、適宜調整を行うものとする。

（保健学科の専攻）

第3条 保健学科に、次の専攻を置く。

看護学専攻

理学療法学専攻

作業療法学専攻

（教育課程）

第4条 医学科の教育課程は、教養教育に関する授業科目（以下「教養教育科目」という。）

を第1年次又は第2年次に、専門教育に関する授業科目（以下「専門教育科目」という。）

を第1年次から第6年次までに開設して編成する。

2 保健学科の教育課程は、教養教育科目を第1年次又は第2年次に、専門教育科目を第1年次から第4年次までに開設して編成する。

（教養教育科目の最低修得単位数、履修方法等）

第5条 教養教育科目の最低修得単位数は、医学科にあつては別表第1のとおりとし、保健学科にあつては別表第2のとおりとする。

2 教養教育科目の区分、名称、単位数、履修方法等については、長崎大学教養教育履修規程（平成24年規程第2号）の定めるところによる。

（専門教育科目の名称等）

第6条 医学科の専門教育科目の区分は、医と社会、正常構造と機能、疾患総論、疾患各論、医学・医療と社会、診療の基本、臨床実習、基礎研究実習、医学総合セミナー及び医学英語とする。

2 医学科の専門教育科目の名称、単位数及び標準履修年次は、別表第3のとおりとする。

第7条 保健学科の専門教育科目の区分は、専門科目及び統合ケア科目とする。

2 保健学科の専門教育科目の名称、単位数及び標準履修年次は、別表第4のとおりとする。

（1単位当たりの授業時間）

第8条 医学科の専門教育科目の1単位当たりの授業時間は、次の基準によるものとする。

(1) 講義及び演習については15時間

(2) 実験及び実習については30時間

(3) 講義及び実習の併用により行う授業については30時間

2 保健学科の専門教育科目の1単位当たりの授業時間は次の基準によるものとし、個別の

授業科目の授業時間数は別表第4に定めるとおりとする。

- (1) 講義については15時間から30時間
 - (2) 演習及び実習については30時間から45時間
- (履修科目の登録)

第9条 学生は、履修しようとする授業科目について、所定の期日までに登録しなければならない。

(履修科目の登録の上限)

第10条 医学科の学生が履修科目として登録することのできる単位数の上限は、教養教育科目及び専門教育科目を合わせて第1年次にあっては61単位まで、第2年次にあっては60単位までとする。ただし、集中講義により開講される授業科目については、この限りでない。

- 2 保健学科の学生が履修科目として登録することのできる単位数の上限は、教養教育科目及び専門教育科目を合わせて第1年次にあっては54単位まで、第2年次にあっては60単位までとする。ただし、集中講義により開講される授業科目については、この限りでない。

(専門教育科目の試験及び単位の認定)

第11条 専門教育科目の単位の認定は、試験の結果に基づき行う。

- 2 専門教育科目について、授業を行った時数の3分の1を超えて欠席した者に対しては、当該授業科目の受験資格を認めない。
- 3 専門教育科目の試験の実施について必要な事項は、別に定める。

(専門教育科目の成績評価)

第12条 専門教育科目の試験の成績評価は、100点満点で60点以上を合格とし、60点未満を不合格とする。

- 2 成績評価を評語で表すときは、AA(90点以上)、A(89点—80点)、B(79点—70点)、C(69点—60点)及びD(59点以下)で表す。

(既修得単位の認定)

第13条 学則第38条の規定により専門教育科目に係る既修得単位の認定を受けようとする保健学科の学生は、所定の期日までに次に掲げる書類を提出しなければならない。

- (1) 既修得単位認定申請書
- (2) 成績証明書
- (3) 授業内容を記載した書類

- 2 認定する単位は、合計10単位以内とする。

(追試験)

第14条 病気その他やむを得ない理由により専門教育科目の試験を受けることができなかった者に対しては、当該授業科目について追試験を行うことがある。

2 追試験を受けようとする者は、追試験願に医師の診断書又は受けることができなかった理由書を添えて速やかに学部長に願い出なければならない。

(再試験)

第15条 専門教育科目の試験の結果、不合格となった者については、再試験を行うことがある。

(再履修)

第16条 専門教育科目のうち、不合格となった授業科目については、当該専門教育科目を再履修しなければならない。

(進級要件)

第17条 医学科の第1年次から第3年次までの学生は、それぞれの年次において、次の各号のすべてに該当しなければ、次年次へ進級することができない。

(1) 別表第3の専門教育科目のうちそれぞれの年次で履修すべき必修の授業科目について、すべて受験資格を有していること。

(2) 別に定めるそれぞれの学年への進級要件を満たしていること。

2 医学科の第4年次の学生は、別表第3の専門教育科目のうち第4年次までの履修すべき必修の授業科目のすべての単位を修得し、かつ、別に定める進級要件を満たしていなければ、第5年次へ進級することができない。

3 医学科の第5年次の学生は、別に定める進級要件を満たしていなければ、第6年次へ進級することができない。

4 保健学科の第1年次から第2年次までの学生は、それぞれの年次において、次の各号のすべてに該当しなければ、次年次へ進級することができない。

(1) 別表第4の専門教育科目のうちそれぞれの年次で履修すべきすべての必修の授業科目について、受験資格を有していること。

(2) 別表第4の専門教育科目のうちそれぞれの年次で履修すべき必修の授業科目について、未修得である授業科目が2科目以内であること。ただし、第2年次においては基礎看護学実習Ⅱを除く。

5 保健学科の第3年次の学生は、第5条第1項に規定する教養教育科目の最低修得単位数を第3年次までに修得し、かつ、別表第4の専門教育科目のうち第3年次までに履修すべき必修の授業科目のすべての単位を修得しなければ、第4年次へ進級することができない。

(卒業の認定)

第18条 医学科に6年以上在学し、別表第1に定める最低修得単位数以上を修得し、かつ、

所定の試験に合格した者に対しては、卒業を認定する。

- 2 保健学科に4年以上在学し、別表第2に定める最低修得単位数以上を修得した者に対しては、卒業を認定する。

(編入学)

第19条 編入学について必要な事項は、別に定める。

(長期履修)

第20条 保健学科においては、学則第39条の規定により、学生が修業年限を超えて一定期間にわたり計画的に履修すること(以下「長期履修」という。)を希望する場合は、これを認めることがある。

- 2 長期履修に関し必要な事項は、別に定める。

(補則)

第21条 この規程の実施に関して必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 平成16年3月31日現在本学部にて在学している者(以下この項において「在学者」という。)及び平成16年4月1日以後において在学者の属する年次に編入学、転入学又は再入学する者については、旧長崎大学医学部規程は、この規程の施行後も、なおその効力を有する。

附 則(平成18年3月31日医学部規程第5号)

- 1 この規程は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 平成18年3月31日現在本学部にて在学している者並びに平成18年度において第2年次及び3年次に編入学する者については、改正後の長崎大学医学部規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成19年3月9日医学部規程第2号)

- 1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 平成19年3月31日現在本学部にて在籍している者並びに平成19年度及び平成20年度において第3年次に編入学する者については、改正後の長崎大学医学部規程の規定(第18条の規定を除く。)にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、第1年次において休学等をした者のうち、教育上特に必要があると認められた学生については、この規程を適用する。

附 則(平成20年3月14日医学部規程第1号)

- 1 この規程は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成20年3月31日現在本学部にて在籍している者並びに平成20年度及び平成21

年度において第3年次に編入学する者については、改正後の長崎大学医学部規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、改正後の別表第4の規定（医療と社会の項に限る。）は、平成19年度の入学者及び平成21年度の第3年次編入学者についても適用する。

附 則（平成20年7月22日医学部規程第3号）

- 1 この規程は、平成20年9月29日から施行する。
- 2 平成18年度以前の入学者及び平成20年度以前において第3年次に編入学した者については、改正後の長崎大学医学部規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成21年3月31日医学部規程第3号）

- 1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成21年3月31日現在本学部に在籍している者並びに平成21年度及び平成22年度において第3年次に編入学する者については、改正後の長崎大学医学部規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成22年3月10日医学部規程第1号）

- 1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成22年3月31日現在本学部に在籍している者並びに平成22年度及び平成23年度において第3年次に編入学する者については、改正後の長崎大学医学部規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成22年3月29日医学部規程第2号）

- 1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成22年3月31日現在本学部に在籍している者及び平成22年度において第2年次に編入学する者については、改正後の長崎大学医学部規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、改正後の第2条の3並びに第2条の4第2項及び第3項の規定については、平成21年度以前に入学した者及び平成22年度において第2年次に編入学する者についても適用する。この場合において、改正後の第2条の4第2項中「一般入試で入学した者」とあるのは「学部長が認めた者」と読み替えるものとする。

附 則（平成23年3月7日医学部規程第1号）

- 1 この規程は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日現在本学部に在籍している者、平成23年度において第2年次に編入学する者並びに平成23年度及び平成24年度において第3年次に編入学する者については、改正後の長崎大学医学部規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、改正後の第2条の4第2項の規定については、平成22年度

においてA0入試（国際医療）で入学した者について準用する。この場合において、改正後の第2条の4第2項中「一般入試，A0入試（国際保健医療）及びA0入試（熱帯医学研究医）で入学した者」とあるのは「A0入試（国際医療）で入学した者」と読み替えるものとする。

附 則（平成24年3月23日医学部規程第1号）

- 1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日現在本学部にて在籍している者、平成24年度において第2年次に編入学する者並びに平成24年度及び平成25年度において第3年次に編入学する者については、改正後の長崎大学医学部規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成26年2月26日医学部規程第1号）

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成26年3月31日現在本学部にて在籍している者については、改正後の長崎大学医学部規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、平成24年度及び平成25年度に入学した者並びに平成25年度及び平成26年度において第2年次に編入学した者については、改正後の別表第3の規定（標準履修年次の欄に限る。）を適用する。

附 則（平成27年1月29日医学部規程第1号）

- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日現在本学部にて在籍している者については、改正後の長崎大学医学部規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、平成24年度、平成25年度及び平成26年度に入学した者並びに平成25年度、平成26年度及び平成27年度において第2年次に編入学した者については、改正後の別表第3の規定を適用する。

附 則（平成28年2月24日医学部規程第1号）

- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日現在本学部にて在籍している者及び平成28年度において第2年次に編入学する者については、改正後の長崎大学医学部規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年5月27日医学部規程第2号）

- 1 この規程は、平成28年5月27日から施行し、改正後の長崎大学医学部規程の規定は、平成28年4月1日から適用する。
- 2 平成28年3月31日現在医学部保健学科にて在籍している者及び平成28年度及び平成29年度において医学部保健学科第3年次に編入学する者については、改正後の長崎大学医学部規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年11月17日医学部規程第4号）

この規程は、平成28年11月17日から施行する。

附 則（平成29年3月29日医学部規程第2号）

- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日現在本学部にて在籍している者並びに平成29年度及び平成30年度において第3年次に編入学する者については、改正後の長崎大学医学部規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成30年3月28日医学部規程第2号）

- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行し、改正後の別表第4の規定は、平成29年4月1日から適用する。
- 2 平成30年3月31日現在医学部医学科にて在籍している者及び平成30年度において医学部医学科第2年次に編入学する者については、改正後の長崎大学医学部規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 平成29年3月31日現在医学部保健学科にて在籍している者及び平成29年度及び平成30年度において医学部保健学科第3年次に編入学する者については、改正後の別表第4の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成30年5月21日医学部規程第4号）

- 1 この規程は、平成30年5月21日から施行し、改正後の別表第4の理学療法学専攻に関する規定は、平成29年4月1日から適用する。
- 2 平成29年3月31日現在本学部にて在籍している者及び平成30年度において第3年次に編入学する者については、改正後の別表第4の理学療法学専攻に関する規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表第1 (略)

別表第2

保健学科の教養教育科目及び専門教育科目の最低修得単位数

区分		授業科目の区分\専攻	看護学専攻	理学療法 学専攻	作業療法 学専攻	
教養教育科目	教養基礎 科目	教養ゼミナール科目	1			
		情報科学科目	2			
		健康・スポーツ科学科目	1～2			
		キャリア教育科目	0～1			
		地域科学科目	1			
		外国語科目	英語	6		
			初習外国語	2		
	小計		14			
	モジュール 科目	全学モジュールⅠ科目	6			
		全学モジュールⅡ科目	6			
		学部モジュール科目	10			
		小計	22			
	自由選択科目		2			
	計		38			
専門教育科目	専門科目	87	92	92		
	統合ケア科目	4	4	4		
	計	91	96	96		
合 計		129	134	134		

別表第3 (略)

別表第4

保健学科の専門教育科目の区分, 名称, 単位数及び標準履修年次

1 看護学専攻

授業科目の区分	授業科目名	単位数		授業時間	標準履修年次	
		必修	選択			
専 門 基 礎 科 目	人体の構造と機能	2		60	1	
	栄養・代謝学	1		15	1	
	病理学	1		15	1	
	微生物学	1		15	1	
	薬理学	1		30	2	
	臨床病態学Ⅰ	2		60	2	
	臨床病態学Ⅱ	2		60	2	
	公衆衛生学	1		15	2	
	保健医療福祉システム論	1		15	2	
	社会福祉	1		15	2	
	保健医療統計学	2		30	3	
	臨床遺伝学	1		15	3	
	カウンセリング技法		1	15	3	
	医療と社会Ⅰ	1		30	2	
	医療と社会Ⅱ	1		15	4	
	専 門 分 野 Ⅰ	ボランティア活動		1	45	4
グローバル化と健康		1		15	1	
医療英語		1		15	3	
看護学概論		1		15	1	
援助的人間関係論		1		15	1	
看護過程		2		30	2	
フィジカルアセスメント		1		30	2	
看護倫理		1		15	4	
基礎看護技術Ⅰ		1		30	1	
基礎看護技術Ⅱ		2		60	1	
基礎看護技術Ⅲ		1		30	2	
基礎看護学実習Ⅰ		1		45	1	
基礎看護学実習Ⅱ		2		90	2	
専 門 分 野 Ⅱ		成人看護学総論	2		30	2
		侵襲的治療看護方法論	1		30	2
		療養支援看護方法論	1		30	2
	救命救急看護	1		15	3	
	成人看護学総合演習	1		30	3	
	成人看護学実習Ⅰ	4		180	3	
	成人看護学実習Ⅱ	2		90	3	
	成長発達看護学	1		30	2	
	小児看護学	1		30	2	
	小児と健康学	2		30	2	
	小児看護学実習Ⅰ	1		45	2	
	小児看護学実習Ⅱ	1		45	3	
	女性と家族の健康学Ⅰ	2		30	2	
	女性と家族の健康学Ⅱ	1		30	2	
	女性と家族の健康学Ⅲ	1		30	3	
	母性看護学実習	2		90	3	
加齢と健康学	1		15	1		
老年看護学	2		30	2		
認知症と看護	1		15	2		
老年看護学実習Ⅰ	2		90	3		
老年看護学実習Ⅱ	2		90	3		

授業科目の区分	授業科目名	単位数		授業時間	標準履修年次	
		必修	選択			
専 門 分 野 Ⅱ	精神保健学	2		30	2	
	精神看護学Ⅰ	1		15	3	
	精神看護学Ⅱ	1		15	3	
	精神看護学実習	2		90	3	
	ケアマネジメント	1		15	2	
	在宅看護学Ⅰ	1		15	2	
	在宅看護学Ⅱ	2		30	2	
	在宅看護学実習	2		90	4	
	統 合 分 野	地域看護学	1		30	3・4
		地域保健学実習		1	45	4
		国際保健学演習		1	30	1・2・3・4
		国際保健学実習		1	45	3・4
		看護の統合と発展	1		15	3
		看護学研究方法論Ⅰ	1		15	3
		看護学研究方法論Ⅱ	1		15	4
		看護の科学的探究	1		45	4
卒業研究		2		60	4	
災害看護学		1		15	4	
看護管理学		1		15	4	
看護コミュニケーション論			1	30	2	
家族看護論			1	15	3・4	
リハビリテーション看護学			1	15	3・4	
医療安全と看護		1		15	3	
リプロダクティブ・ヘルス			1	15	3・4	
成育看護学		1	15	3・4		
統 合 ケ ア 科 目	入門科目	1		30	1	
	統合ケア論	1		30	3	
	統合ケア実習	1		45	4	
	離島の暮らしと保健医療	1		30	4	
合 計			101			

※ 最低修得単位数：91単位

2 理学療法学専攻

授業科目の区分	授業科目名	単位数		授業時間	標準修年次	
		必修	選択			
専攻	人体の構造と機能	2		60	1	
	栄養・代謝学	1		15	1	
	病理学	1		15	1	
	微生物学	1		15	1	
	機能解剖学Ⅰ	1		15	1	
	機能解剖学Ⅱ	2		30	1	
	機能解剖学実習	2		90	1	
	生理機能学Ⅰ	1		15	1	
	生理機能学Ⅱ	2		30	1	
	運動学Ⅰ	1		15	1	
	薬理学	1		30	2	
	公衆衛生学		1	15	2	
	社会福祉		1	15	2	
	生理機能学実習	2		90	2	
	運動学Ⅱ	1		15	2	
	運動学実習	1		45	2	
	リハビリテーション医学	1		15	2	
	内科系障害とリハビリテーションⅠ	1		15	2	
	内科系障害とリハビリテーションⅡ	1		15	2	
	基礎	運動器系障害とリハビリテーションⅠ	1		15	2
運動器系障害とリハビリテーションⅡ		1		15	2	
神経系障害とリハビリテーションⅠ		1		15	2	
神経系障害とリハビリテーションⅡ		1		15	2	
外科系障害とリハビリテーション		1		15	2	
精神系障害とリハビリテーションⅠ		2		30	2	
小児系障害とリハビリテーション		2		30	2	
医療と社会Ⅰ		1		30	2	
保健統計学			1	15	3	
保健医療統計学		2		30	3	
科目	カウンセリング技法		1	15	3	
	救急医学特論		1	15	3	
	医療情報科学特論		1	15	3	
	医療と社会Ⅱ	1		15	4	
	保健医療福祉システム論		1	15	2	
	ボランティア活動		1	45	4	
	医療英語	1		15	3	
	基礎理学療法	理学療法学概論	1		15	1
		基礎理学療法学	1		15	2
		運動発達論	1		15	2
理学療法評価学		1		30	2	
運動療法学		1		15	2	
物理療法学		1		15	2	
ペインリハビリテーション		1		15	4	
理学療法研究法		1		15	3	
理学療法評価学実習		1		30	3	
物理療法学実習		1		30	3	
生活技術学		1		15	3	
生活技術学実習		1		30	3	
義肢装具学		1		15	3	
義肢装具学実習		1		30	3	

授業科目の区分	授業科目名	単位数		授業時間	標準修年次	
		必修	選択			
専攻	地域理学療法学	1		15	3	
	運動器系理学療法学	1		15	3	
	運動器系理学療法学実習	1		30	3	
	中枢神経系理学療法学	1		15	3	
	中枢神経系理学療法学実習	1		30	3	
	発達障害系理学療法学	1		15	3	
	発達障害系理学療法学実習	1		30	3	
	呼吸・循環系理学療法学	1		15	3	
	呼吸・循環系理学療法学実習	1		30	3	
	理学療法学セミナーⅠ	1		30	3	
	理学療法学セミナーⅡ	1		30	4	
	臨床理学療法学セミナーⅠ	1		15	3	
	臨床理学療法学セミナーⅡ	1		15	4	
	臨床理学療法学セミナーⅢ	1		15	4	
	臨床実習	基礎理学療法学実習Ⅰ	1		45	1
基礎理学療法学実習Ⅱ		1		45	2	
総合臨床実習Ⅰ		4		180	3	
総合臨床実習Ⅱ		7		315	4	
総合臨床実習Ⅲ		7		315	4	
卒業研究	卒業研究	4		180	4	
	統合ケア科目	入門科目	1		30	1
		統合ケ論	1		30	3
		統合ケ実習	1		45	4
離島の暮らしと保健医療		1		30	4	
合計		100				

※ 最低修得単位数：96単位

3 作業療法学専攻

授業科目の区分	授業科目名	単位数		授業時間	標準履修年次	
		必修	選択			
専	人体の構造と機能	2		60	1	
	栄養・代謝学		1	15	1	
	病理学	1		15	1	
	微生物学	1		15	1	
	機能解剖学Ⅰ	1		15	1	
	機能解剖学Ⅱ	2		30	1	
	機能解剖学実習	2		90	1	
	生理機能学Ⅰ	1		15	1	
	生理機能学Ⅱ	2		30	1	
	運動学Ⅰ	1		15	1	
門	薬理学	1		30	2	
	公衆衛生学		1	15	2	
	社会福祉	1		15	2	
	生理機能学実習	2		90	2	
	運動学Ⅱ	1		15	2	
	運動学実習	1		45	2	
	リハビリテーション医学	1		15	2	
	内科系障害とリハビリテーションⅠ	1		15	2	
	内科系障害とリハビリテーションⅡ	1		15	2	
	運動器系障害とリハビリテーションⅠ	1		15	2	
基	運動器系障害とリハビリテーションⅡ	1		15	2	
	神経系障害とリハビリテーションⅠ	1		15	2	
	神経系障害とリハビリテーションⅡ	1		15	2	
	外科系障害とリハビリテーション	1		15	2	
	精神系障害とリハビリテーションⅠ	2		30	2	
	小児系障害とリハビリテーション	2		30	2	
	医療と社会Ⅰ	1		30	2	
	保健統計学	1		15	3	
	保健医療統計学		2	30	3	
	カウンセリング技法	1		15	3	
科	救急医学特論		1	15	3	
	医療情報科学特論		1	15	3	
	医療と社会Ⅱ	1		15	4	
	保健医療福祉システム論		1	15	2	
	グローバル化と健康		1	15	1	
	ボランティア活動		1	45	4	
	医療英語	1		15	3	
	目	作業療法学概論	1		15	1
		基礎作業学概論	1		15	2
		基礎作業学技法Ⅰ	1		30	2
基礎作業学技法Ⅱ		2		60	2	
治療作業学		1		15	2	
作業療法評価法		2		30	2	
精神系障害とリハビリテーションⅡ		1		15	2	
作業療法評価法実習		1		30	3	
基礎作業療法学	作業療法研究法	1		15	3	

授業科目の区分	授業科目名	単位数		授業時間	標準履修年次	
		必修	選択			
専	身体障害作業治療学	2		30	3	
	身体障害作業治療学実習	1		30	3	
	精神障害作業治療学	2		30	3	
	精神障害作業治療学実習	1		30	3	
	発達障害作業治療学	2		30	3	
	発達障害作業治療学実習	1		30	3	
	地域作業療法学	1		15	3	
	生活障害改善学	1		15	3	
	生活障害改善学実習	1		30	3	
	門	義肢装具学	1		15	3
義肢装具学実習		1		30	3	
精神障害支援特論			1	15	3	
発達障害支援特論			1	15	3	
身体障害支援特論			1	15	3	
作業療法学セミナー		2		60	4	
臨床実習		臨床実習Ⅰ	1		45	1
		臨床実習Ⅱ	1		45	2
		総合臨床実習Ⅰ	5		225	3
		総合臨床実習Ⅱ	7		315	4
卒業研究	総合臨床実習Ⅲ	7		315	4	
	卒業研究	4		180	4	
統合ケア科目	入門科目	1		30	1	
	統合ケア論	1		30	3	
	統合ケア実習	1		45	4	
	離島の暮らしと保健医療	1		30	4	
合計		104				

※ 最低修得単位数：96単位

2) 医学部保健学科教務内規

(趣旨)

第1条 この内規は、長崎大学学則及び長崎大学医学部規程に定めるもののほか、保健学科における専門教育科目の教育に関して必要な事項を定めるものとする。

(入学前の既修得単位の認定)

第2条 学則第38条の規定に基づく入学前の既修得単位の認定は、保健学科会議の議を経て行う。

2 前項の規定により認定する既修得科目の単位は、本学科の相当する授業科目の単位数と同等以上のものでなければならない。

3 認定する授業科目及び単位は、専門基礎科目及び他専攻開放科目の授業科目及び単位とし、認定単位数は10単位以内とする。

4 認定を受けようとする者は、所定の期日までに、次の各号の書類を提出しなければならない。

(1) 既修得単位認定申請書

(2) 卒業又は中途退学した大学等の成績証明書(単位記載のもの)

(3) 単位認定を受けようとする授業科目のシラバス又は授業内容を記載したもの

5 認定した既修得授業科目の成績評価は「認定」とし、評語は「認」と記載する。

6 認定した評価ポイントは「B」とする。(授業料免除及び日本学生支援機構奨学金等の学業成績基準を決定する場合の学力評点)

(試験・考査)

第3条 試験は、定期試験を原則とし、学期末又は学年末に日時を定めて行う。

2 前項の定期試験のほか、学期の中間に随時試験を行うことがある。

3 試験は原則として筆記試験とするが、口頭試問、論文、レポート等によることもある。

(受験資格)

第4条 授業を行った時数の3分の1を超えて欠席した者に対しては、当該科目の受験資格を認めない。ただし、病気、忌引、その他やむを得ない理由のため、授業を欠席した者が、所定の証明書を添えて欠席届を提出した場合は、欠席時数について考慮することがある。

(追試験)

第5条 病気、忌引、その他やむを得ない理由のため、定期試験を受けることができなかった者には、当該授業科目について追試験を行うことがある。

2 追試験を受けようとする者は、当該試験終了後7日以内に、病気の場合は医師の診断書、その他の場合は証明書あるいは理由書を添えて追試験願を提出して許可を受けなければならない。

3 忌引の期間は、配偶者又は父母7日以内、子5日以内、配偶者の父母3日以内、二親等の親族3日以内とする。

4 追試験は1回を限りとして行う。

(再試験)

第6条 定期試験又は追試験の結果、不合格となった者に対し、再試験を行うことがある。

2 再試験は1回を限りとして行う。

3 再試験の成績評価はC又はDとする。

(複数の教員が担当している授業科目の試験)

第7条 1 授業科目を複数の教員が担当している場合の定期試験は、全ての担当教員が協議し、一括した試験を行い、総合評価を行うことを原則とする。

2 担当分野が異なる等の理由から、一括した定期試験の実施が困難な場合は、当該科目の担当教員がそれぞれの試験を行い、総合評価を行うことができる。

3 一部の教員について不合格者がいる場合、一律に総合評価し難いときは、不合格となった教員について再試験を実施し、合格点に達したときに総合評価を行うことができる。

4 試験の実施に関する連絡・調整及び総合評価等は当該授業科目の世話教員が行うものとする。

(定期試験期日等の公示)

第8条 定期試験の期日等は、事前に公示する。

2 追試験及び再試験の期日等は、原則として試験日3日前までに公示する。

(試験室・遅刻・退場等)

第9条 試験は、試験室の決められた席で受験し、監督者の指示に従うこと。

2 学生証を机上右上側に置くこと。

3 下敷きの使用は認めない。また、試験中は、鉛筆、消しゴム、その他の貸借を禁止する。

4 試験開始後20分以内の遅刻は受験を認める。ただし、試験時間の延長は行わない。

5 試験開始後20分を経過した後は、試験室から退出できる。

6 答案用紙の持ち出しを禁止する。

(不正行為)

第10条 試験実施中は、不正行為とみなされるような態度をとらないこと。不正行為を行った学生に対しては、保健学科会議の議を経て、当該学期に履修した全専門教育科目を無効とする措置を行う。

(成績評価)

第11条 成績評価は、医学部規程に定めるとおりとする。

2 成績評価は、試験、論文その他の成績を考慮して総合的に行うものとする。

3 1授業科目を複数の教員で担当して、考査を分担している場合は、当該担当教員の合議により、世話教員が成績評価を行うものとする。

4 実習科目の成績評価は、出席及び実習状況、実習目標の達成状況、レポート提出等により、総合的に行うものとする。

(再履修)

第12条 必修科目のうち不合格となった授業科目は、原則として再履修をしなければならない。

2 講義科目について、授業担当教員が認めた場合は、再履修することなく、次学期以降に実施する当該科目の試験を受験することができる。

3 前項の試験については、第6条第1項から第3項に掲げる再試験と同様の取り扱いとする。

(進級要件)

第13条 保健学科の第1年次から第2年次までの学生は、それぞれの年次において、次の各号のすべてに該当しなければ、次年次へ進級することができない。

(1) 別表第4の専門教育科目のうちそれぞれの年次で履修すべきすべての必修の授業科目について、受験資格を有していること。

(2) 別表第4の専門教育科目のうちそれぞれの年次で履修すべき必修の授業科目について、未修得である授業科目が2科目以内であること。ただし、第2年次においては基礎看護実習Ⅱを除く。

2 保健学科の第3年次の学生は、医学部規程第15条第4項に規定するとおり教養教育科目の卒業に要する最低修得単位数及び専門教育科目のうち第3年次までに開講された必修の授業科目のすべての単位を修得しなければ第4年次に進級することができない。

3 進級の認定は、保健学科会議で行う。

(臨地実習履修要件)

第14条 看護学専攻の第2年次、第3年次の学生は、それぞれの年次において、次の各号に該当しなければ、当該実習を履修することができない。

(1) 第2年次に進級している学生で、第2年次前期までに開講された必修科目のうち基礎看護学実習Ⅰ及び看護過程の単位を修得しなければ、第2年次後期に開講される基礎看護学実習Ⅱを履修することができない。

(2) 教養教育科目の卒業に要する最低修得単位数及び専門教育科目のうち第3年次前期までに開講された必修の授業科目のすべての単位を修得しなければ第3年次後期に開講される臨地実習を履修することができない。ただし、看護学専攻において、教養教育科目の未修得科目の再履修が臨地実習の履修に支障がないと認めた場合は、臨地実習の履修を認めることがある。

(履修登録後の科目の取り扱い)

第15条 履修登録確認期間を経過した後の科目履修の取り消しは、やむを得ない事情がないかぎり受け付けない。

2 履修登録した科目に出席せず、試験を受験しなかった場合の成績評価は「欠席」とし、評語は「欠」と記載する。

(雑則)

第16条 この内規に定めるもののほか、教務に関し必要な事項は、保健学科会議で定めるものとする。

附 則

この内規は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成16年8月5日から施行する。

附 則

この内規は、平成19年2月15日から施行する。

附 則

この内規は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

1 この内規は、平成29年4月1日から施行する。

2 平成29年3月31日現在本学科に在籍している者並びに平成29年度及び平成30年度において第3年次に編入学する者については、改正後の医学部保健学科教務内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3) 医学部保健学科における長期履修に関する申し合わせ

この申し合わせは、医学部規程（以下「学部規程」という）第20条に基づき、長崎大学長期履修規程（以下「規程」という。）に定めるもののほか、医学部保健学科における長期履修に関し必要な事項を申し合わせる。

第1条 対象学生

次の各号のいずれかに該当する者で、長期履修の申し出があった場合は、教授会の議を経て認めることがある。

- (1) 職業を有し、就業している者
- (2) 家事、育児、介護等に従事している者
- (3) 障害のある者
- (4) その他相当の事由があると認められる者

第2条 申請の時期

新入生は、入学手続期間とする。

在学者は、前期からの希望にあつては2月末日までに、後期からの希望にあつては8月末日までとする。

ただし、修業年次における最終年次の者は申請できない。

第3条 履修形態の変更

長期履修の期間短縮の申請は、学期の終了する1ヶ月前までとする。（8月末、2月末）

第4条 申請に必要な書類

- (1) 長期履修（長期履修期間短縮）申請書
- (2) 在職を証明するもの（第1条(1)該当者）
- (3) 長期履修が必要であることを証明する書類（第1条(2)及び(3)該当者）

第5条 履修指導

長期履修生に対する履修指導は、本人及び指導教員等と相談のうえ教務委員会が行う。

第6条 臨地実習履修要件

看護学専攻においては、保健学科教務内規第14条の要件を満たした年度の後期より履修させる。

第7条 進級要件

学部規程第15条第3項の要件を満たした次の年度より進級させる。

附 則

この申し合わせは、平成19年度から適用する。

附 則

この申し合わせは、平成29年度から適用する。

4) 医学部保健学科編入学に関する内規

(趣 旨)

第1条 この内規は、長崎大学医学部規程（平成16年医学部規程第1号。以下「規程」という。）第19条の規定に基づき、医学部保健学科への編入学に関して必要な事項を定めるものとする。

(募集人員)

第2条 各専攻の募集人員は、次のとおりとする。

- (1) 看護学専攻 10人
- (2) 理学療法学専攻 若干人
- (3) 作業療法学専攻 若干人

(入学資格)

第3条 本学科の各専攻に編入学することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 看護学専攻

- ①短期大学において、看護関係学科を卒業した者
- ②専修学校の専門課程において、文部科学大臣の定める基準（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1700時間以上であること。）を満たし、看護関係学科を修了した者（学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。）

(2) 理学療法学専攻

- ①短期大学において、理学療法関係学科を卒業した者
- ②専修学校の専門課程において、文部科学大臣の定める基準（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1700時間以上であること。）を満たし、理学療法関係学科を修了した者（学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。）

(3) 作業療法学専攻

- ①短期大学において、作業療法関係学科を卒業した者
- ②専修学校の専門課程において、文部科学大臣の定める基準（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1700時間以上であること。）を満たし、作業療法関係学科を修了した者（学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。）

(選抜方法)

第4条 入学者の選抜は、学力検査、面接を総合して行う。

- 2 学力検査の科目は、各専攻ごとに決定する。
- 3 入学者の選抜は、各専攻ごとに行う。

(委員会の任務)

第5条 編入学試験に関する事項は、入学試験委員会が行う。

- (1) 入学試験の募集要項及び実施要項に関すること。
- (2) 学力検査等検査委員の選出に関すること。
- (3) 選抜方法に関すること。
- (4) 採点・評価基準及び合否判定基準に関すること。
- (5) その他編入学試験に関すること。

2 編入学者の修学に関する事項は、教務委員会が行う。

- (1) 入学前の既修得単位の認定に関すること。
- (2) その他編入学者の修学に関すること。

(編入学の時期)

第6条 編入学の時期は、学年の始めとする。

(修業年限等)

第7条 編入学後の修学条件は、次のとおりとする。

- (1) 編入学の年次は、第3年次とする。
- (2) 修業年限は、2年とする。
- (3) 在学期間は、修業年限の2倍を超えることができない。
- (4) 休学期間は、通算して2年を越えることができない。

(入学前の既修得単位の認定)

第8条 入学前の既修得単位は93単位を限度に、次のとおり認定する。なお、各専攻の履修指定科目等は別表のとおりとする。

- (1) 教養教育38単位は一括認定とする。
- (2) 専門教育科目は、入学前に修得した科目の内容に応じ、各専攻が定める履修指定科目等を除き、55単位を上限に卒業要件単位に認定する。
 - 2 認定した既修得単位の成績評価は「認定」とし、評語は「認」と記載する。
 - 3 認定した評価ポイントは「B」とする。(授業料免除及び奨学金の学業成績基準を決定する場合の学力評点)

(進級要件)

第9条 第4年次への進級の要件は、次のとおりとする。

- (1) 看護学専攻は、医学部保健学科教務内規第13条の進級要件を適用する。
- (2) 理学療法学専攻及び作業療法学専攻は、進級要件は設けない。

(卒業要件)

第10条 卒業要件は、本学科に2年以上在学し、医学部規程別表第2に定める教養教育科目及び専門教育科目の最低修得単位数から、第8条における入学前の既修得単位の認定単位を減じた単位数について修得しなければならない。

(履修方法)

第11条 履修は、各専攻の教員に当該専攻の卒業に必要な単位を修得できるようにガイダンス及び個別指導を受けるものとする。

- 2 この内規に定めるもののほか、履修に関し必要な事項は、医学部保健学科教務内規に定めるところによる。

附 則

- 1 この内規は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成21年3月31日現在本学部在籍している者並びに平成21年度及び平成22年度において第3年次に編入学する者については、改正後の医学部保健学科編入学に関する内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 平成24年3月31日現在本学部在籍している者並びに平成24年度及び平成25年度において第3年次に編入学する者については、改正後の医学部保健学科編入学に関する内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この内規は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成31年3月31日現在本学部在籍している者については、改正後の医学部保健学科編入学に関する内規別表にかかわらず、なお従前の例による。

看護学専攻

区 分		卒業 要件 単位数	履修指定科目等				
			授業科目	単位			
				必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目	87	医療と社会Ⅰ	1			
			臨床遺伝学	1			
			医療と社会Ⅱ	1			
			医療英語	1			
			グローバルゼーションと健康	1			
			保健医療統計学	2			
			保健医療福祉システム論	1			
			公衆衛生学	1			
			社会福祉	1			
	専門分野Ⅰ	87	フィジカルアセスメント	1			
			看護倫理	1			
			成人看護学総合演習	1			
	専門分野Ⅱ	87	救命救急看護	1			
			認知症と看護	1			
			ケアマネジメント	1			
			女性と家族の健康学Ⅲ	1			
			精神看護学Ⅰ	1			
			精神看護学Ⅱ	1			
			統合分野	87	地域看護学	1	
					看護の統合と発展	1	
					看護学研究方法論Ⅰ	1	
					看護学研究方法論Ⅱ	1	
	看護の科学的探究	1					
	卒業研究	2					
	看護管理学	1					
	医療安全と看護	1					
	災害看護学	1					
	地域保健学実習				*		
	家族看護論		*				
	リハビリテーション看護学	3	*				
	看護コミュニケーション論		*				
	リプロダクティブ・ヘルス		*				
	成育看護学		*				
統合ケア科目	4	入門科目	(1) 認定				
		統合ケア論	1				
		統合ケア実習	1				
		離島の暮らしと保健医療	1				
計		91	小計	36			

* 選択科目から3単位分を受講

理学療法学専攻

区 分		卒業要件 単位数	履修指定科目等		
			授業科目	単位	
				必修	選択
専門教育科目	専門科目	専門基礎科目	医療と社会Ⅰ	1	
		基礎理学療法学			
		臨床理学療法学	理学療法学セミナーⅠ	1	
			理学療法学セミナーⅡ	1	
		臨床実習			
		卒業研究	4		
	統合ケア科目	4	入門科目（認定）	(1)	
			統合ケア論	1	
			統合ケア実習	1	
			離島の暮らしと保健医療	1	
	96				

作業療法学専攻

区 分		卒業要件 単位数	履修指定科目等		
			授業科目	単位	
				必修	選択
専門教育科目	専門科目	専門基礎科目	医療と社会Ⅰ	1	
		基礎作業療法学			
		臨床作業療法学	作業療法学セミナー	2	
		臨床実習			
		卒業研究	卒業研究	4	
	統合ケア科目	4	入門科目（認定）	(1)	
			統合ケア論	1	
			統合ケア実習	1	
			離島の暮らしと保健医療	1	
		96			

17. 教職員名簿

医学部長 永安武教授
 保健学科長 澤井照光教授

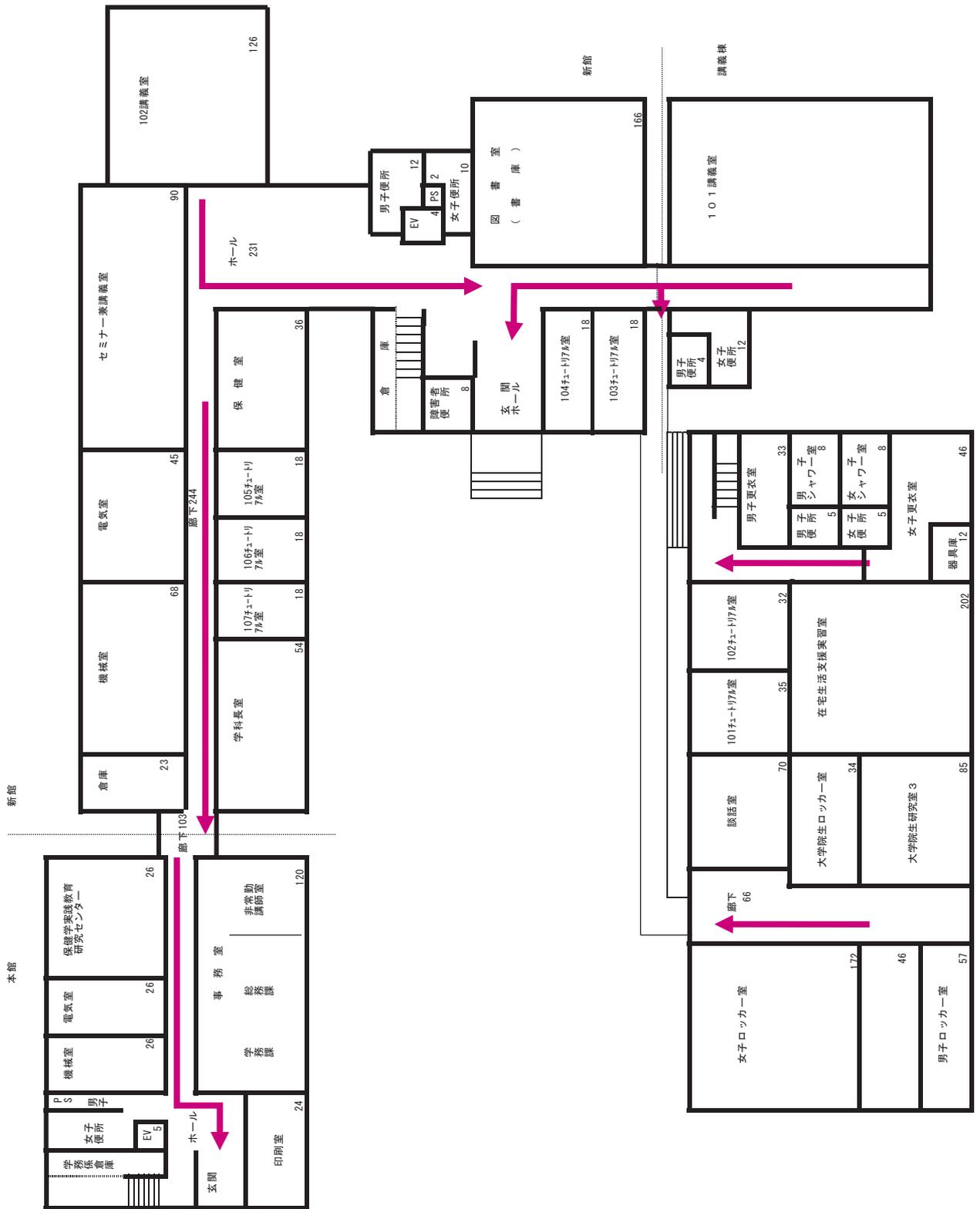
専攻	職名	氏名	専攻	職名	氏名
看護学専攻	教授	石松祐二	理学療法学専攻	教授	井口茂
	教授	江藤宏美		教授	沖田実
	教授	大石和代		教授	折口智樹
	教授	大西眞由美		教授	神津玲
	教授	大澤井照光		教授	小関弘
	教授	花田裕子		准教授	小坂本
	教授	平野裕子		准教授	鶴崎俊哉
	教授	本田純久		准教授	中野治郎
	准教授	上野和美		*助教	中新貝和也
	准教授	大町いづみ		助教	新田中貴達
	准教授	黒田裕美		助教	平瀬
	准教授	中尾理恵子			
	准教授	永江誠治			
	准教授	永田明幸			
	准教授	永橋美幸			
	准教授	永松浦江美			
	准教授	森藤香奈子	作業療法学専攻	教授	岩永竜一郎
	准教授	吉田浩二		教授	佐藤克也
	助教	大山祐介		教授	田中根悟郎
	助教	キット彩乃		教授	中東登志夫
	助教	佐々木規子		教授	東嶋美佐子
	助教	田中規一		教授	東村田永潤
	助教	辻麻由美		准教授	村徳内瑛子
	助教	西原三佳		助教	森内剛史
	助教	西爪可美			
	助教	橋浜多和			
助教	本直子				
助教	横誠一				

*有期雇用

※平成31年4月1日在籍者。教員は職名別に50音順に記載している。

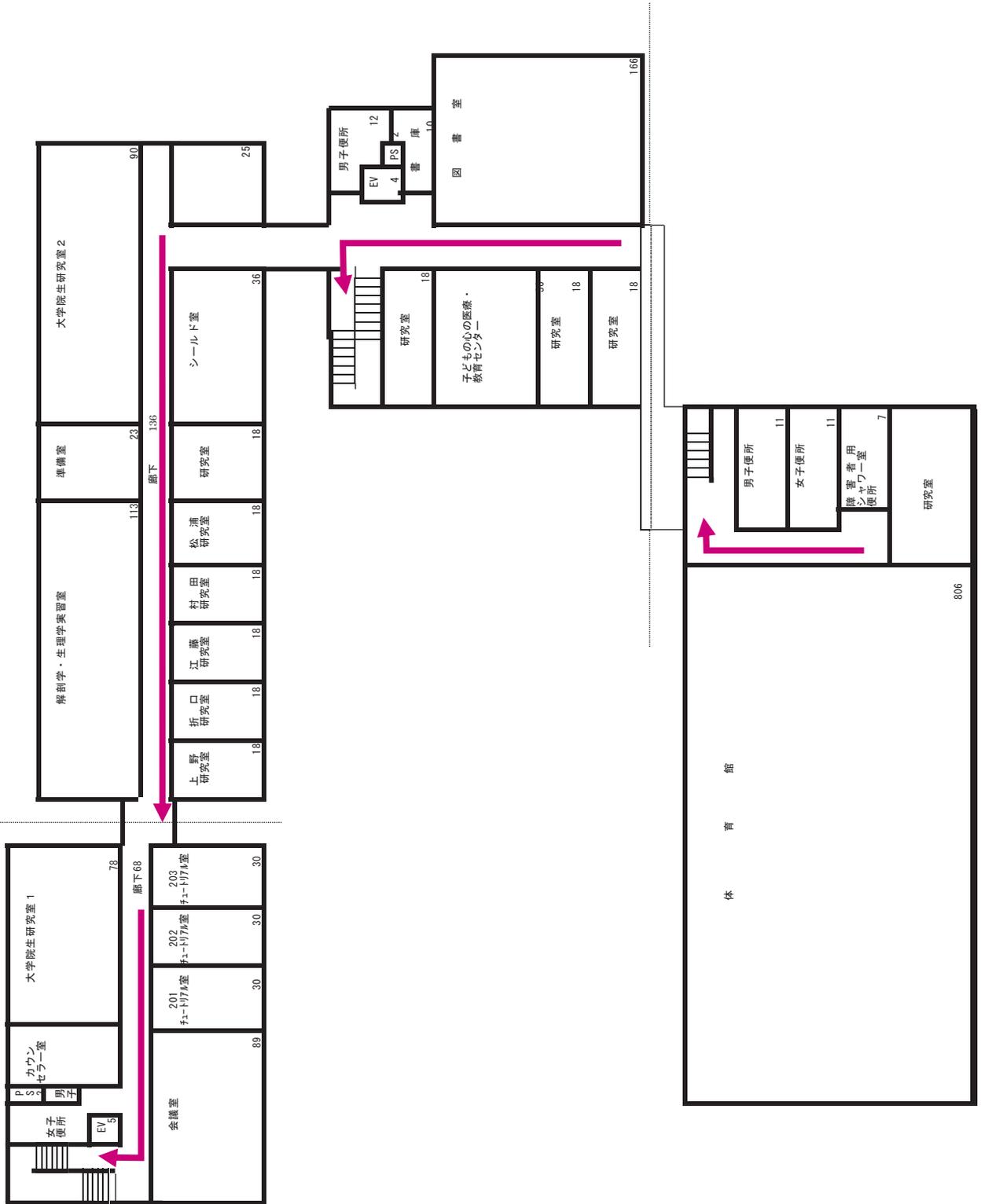
18. 校舎配置図・平面図等 (避難経路図) 医学部保健学科平面図 (1階)

避難経路



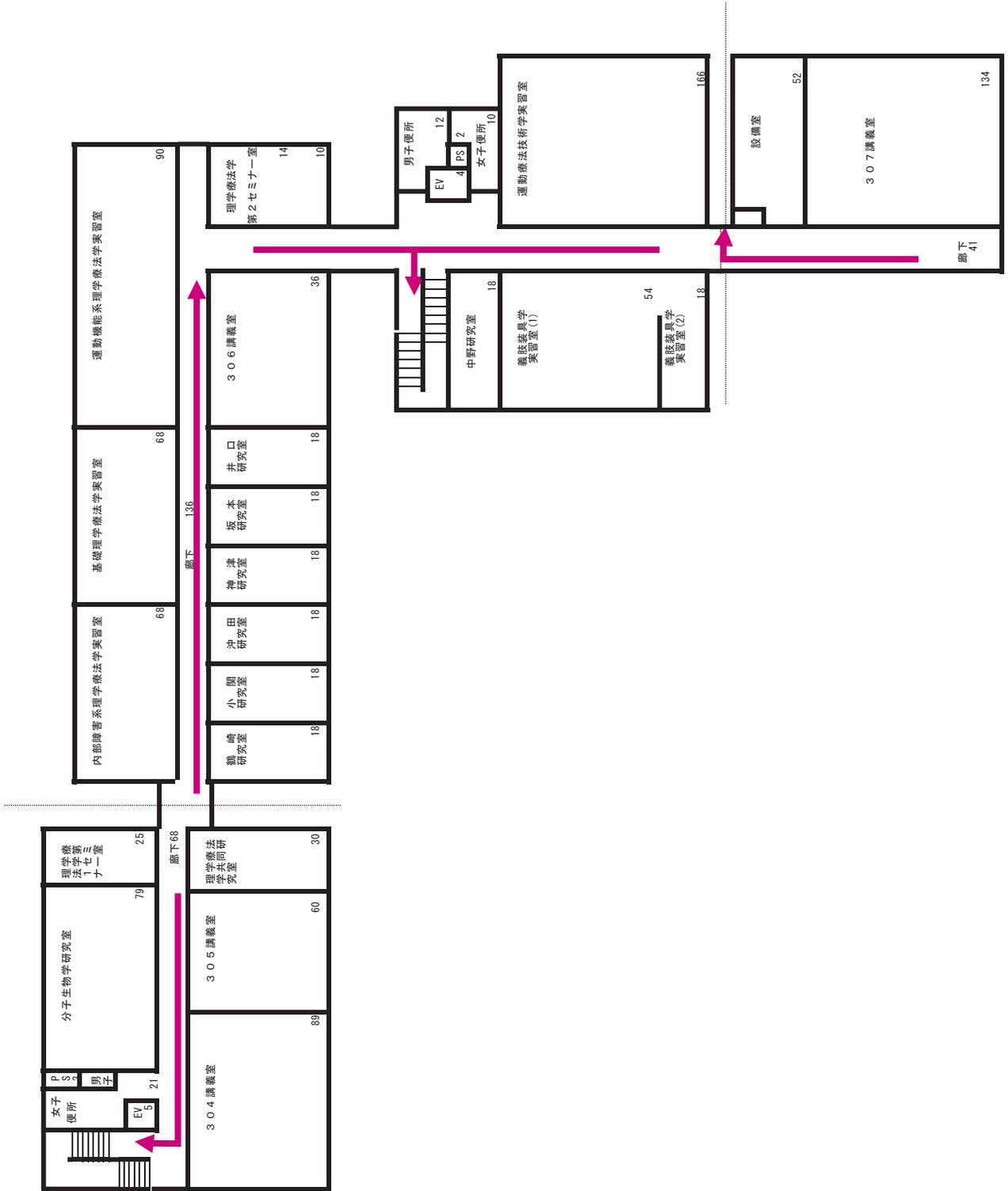
医学部保健学科平面図（2階）

避難経路



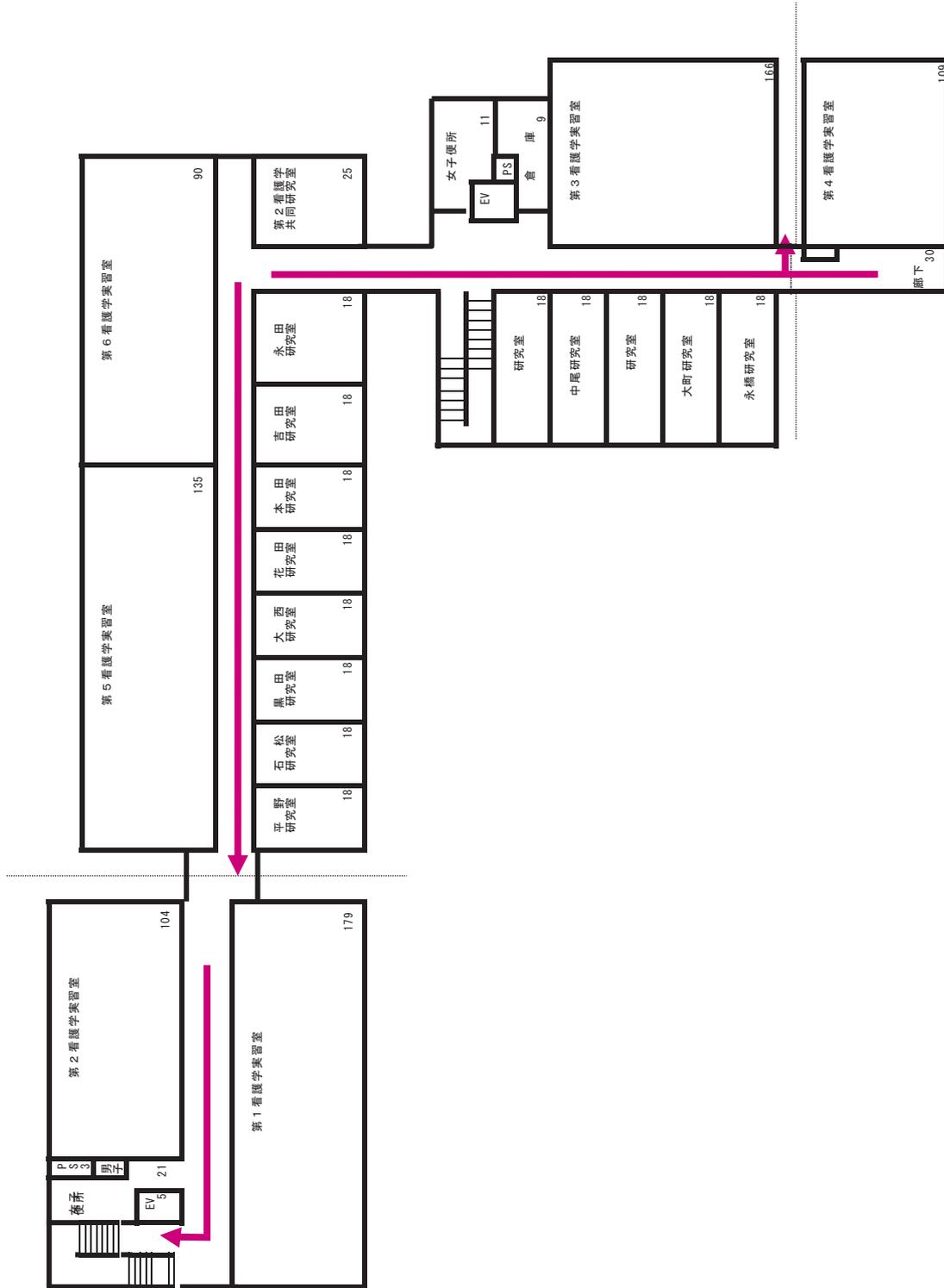
医学部保健学科平面図（3階）

避難経路



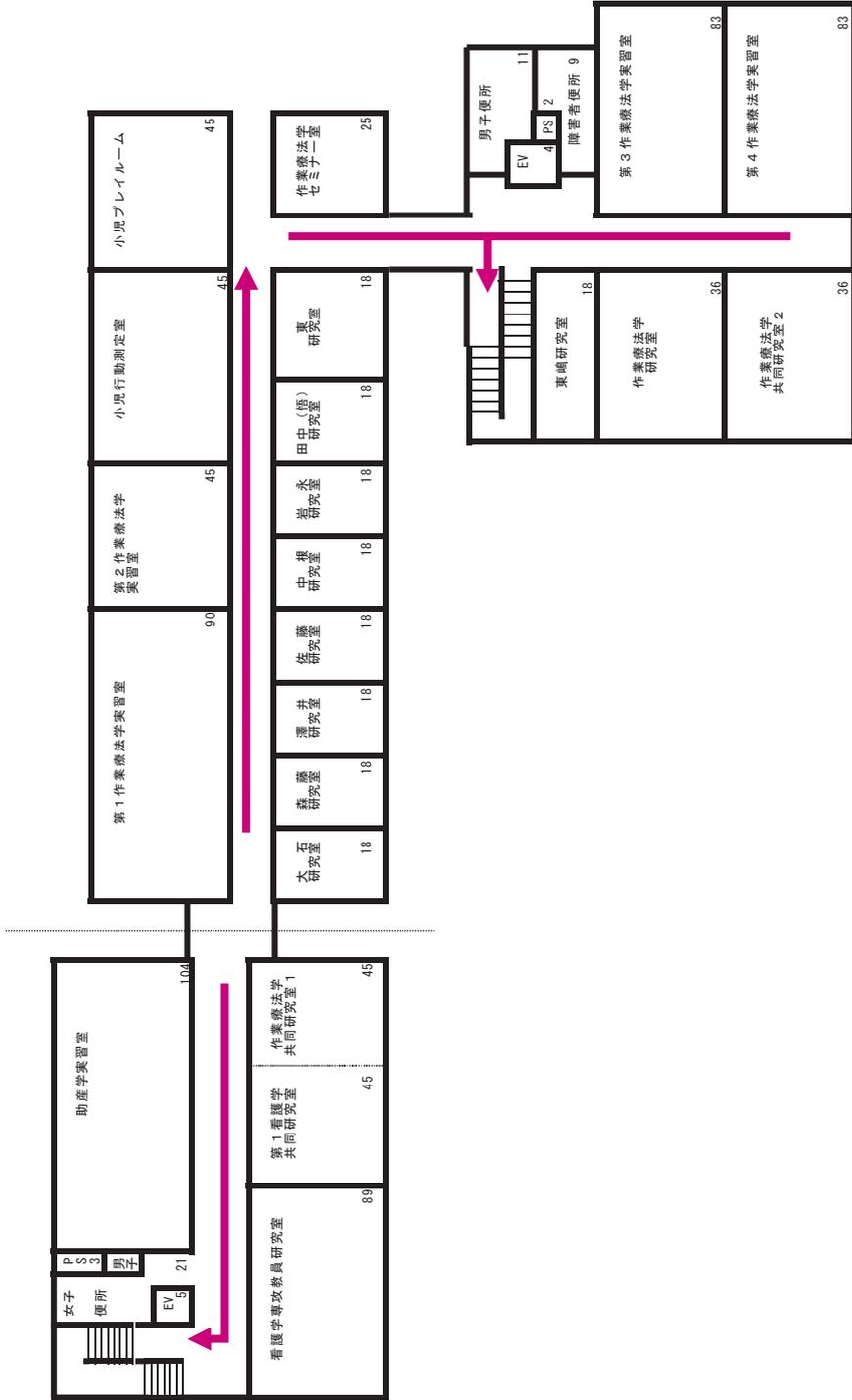
医学部保健学科平面図（4階）

避難経路

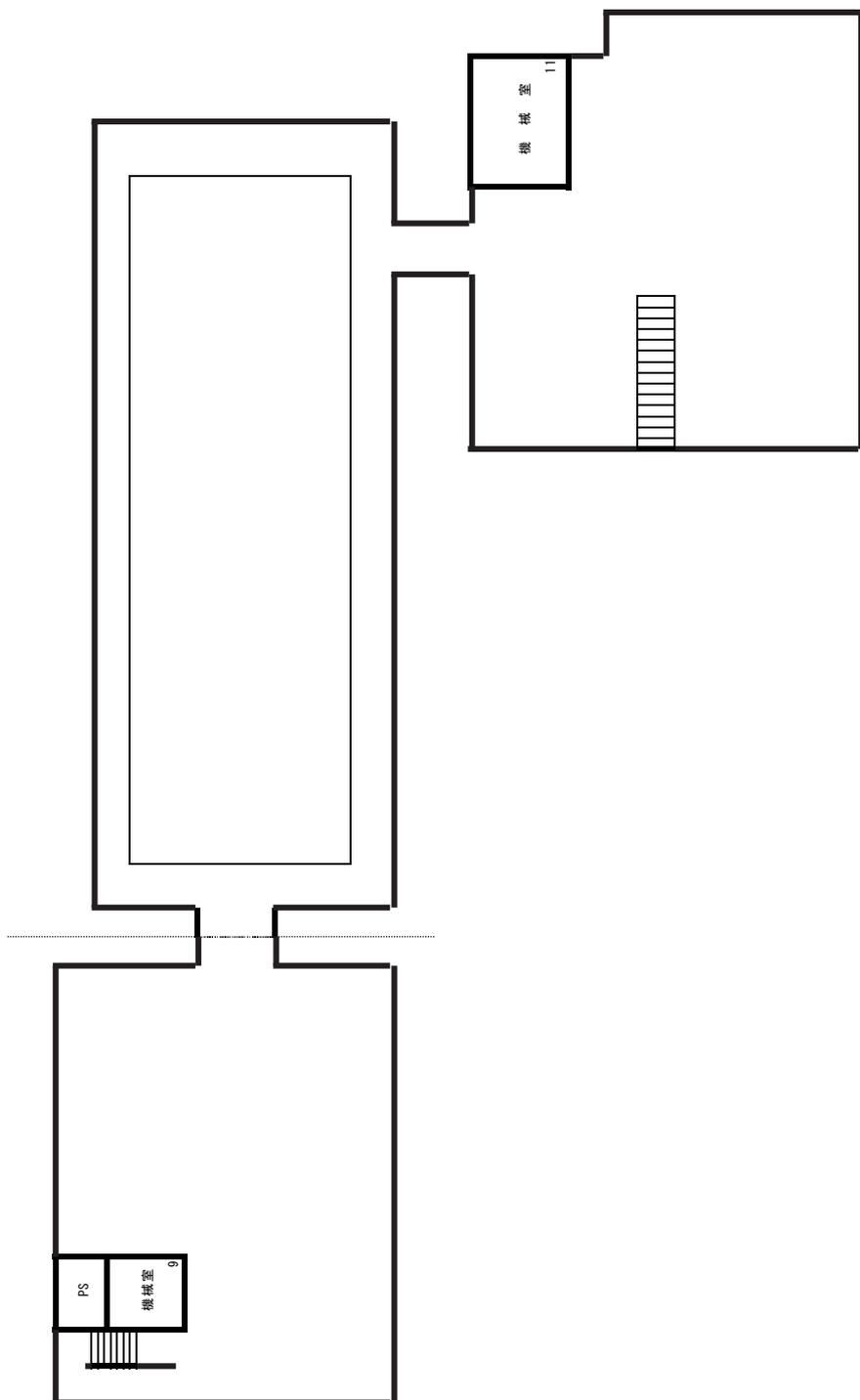


医学部保健学科平面図（5階）

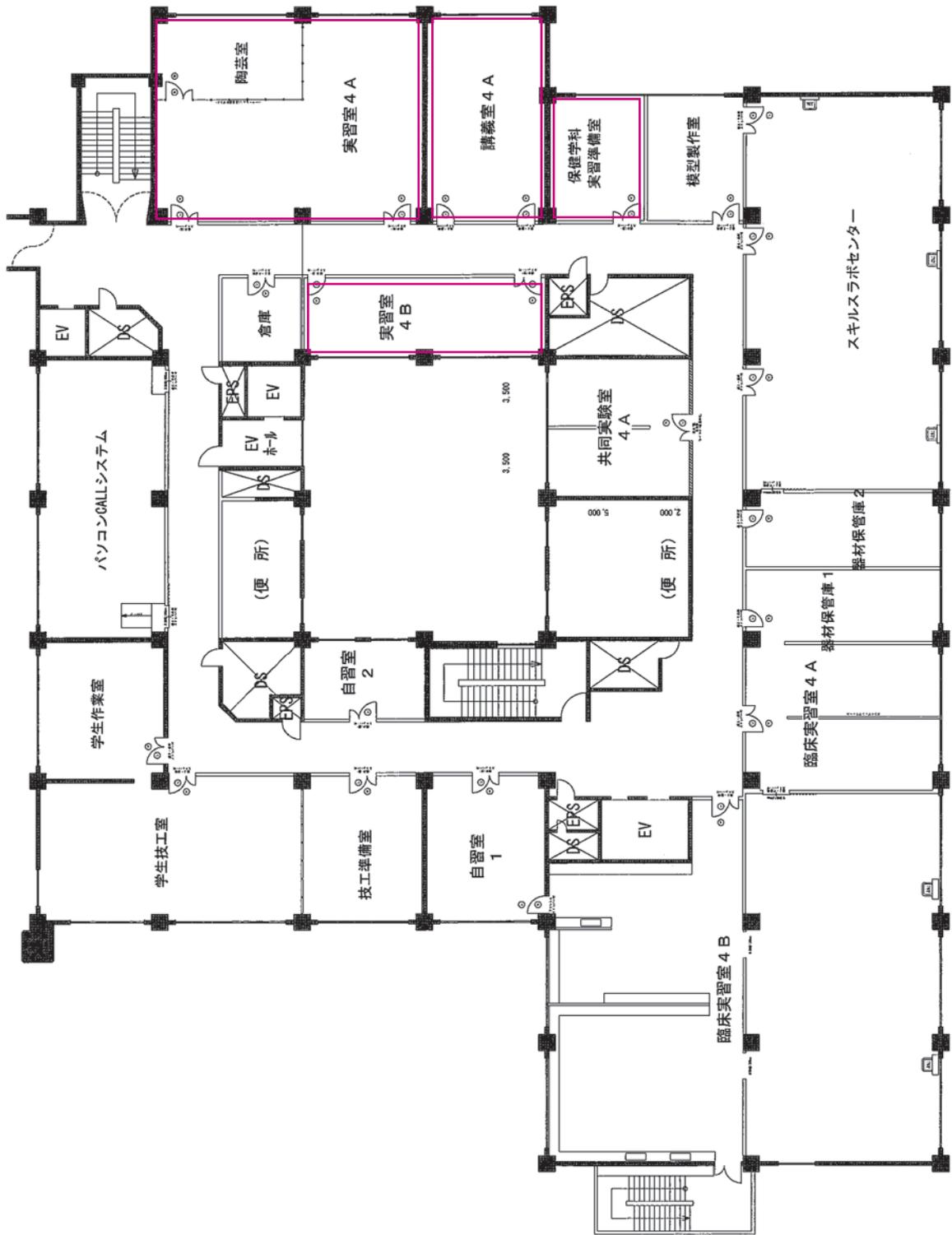
避難経路



医学部保健学科平面図（屋上）



歯学部C棟平面図（4階）



19. 保健学科における地震等災害緊急対応マニュアル

【日々の備え】

- ①非常時に備え、学内の避難経路・避難場所を明示しておく
- ②火災の発生に備え、消火器の位置・使用法を確認しておく
- ③化学反応を起こす恐れのある化学薬品などについては、混触を起こさないよう棚を整理しておく
- ④ロッカー・戸棚などの上に物を置かない
- ⑤室内の整理・整頓を心掛け、不要となった紙類・ゴミ類は早めに処分しておく
- ⑥ドア周辺に避難の妨げになるような物を置かない
- ⑦応急手当の方法を身につけておく
- ⑧機会を見つけて、積極的に防災訓練・救急救護訓練等に参加する

【授業中に大きな地震等で避難が必要となった場合】

I. 身の安全を確保する

担当教員の指示に従い、揺れ等が鎮静化するまで次の点に注意して冷静に行動してください

- ①ドア付近の人はドアを開け、出口を確保する
- ②窓ガラスの飛散を防ぐため、窓のカーテンを閉める
- ③衣類・持ち物などで頭を覆い、落下物（黒板・TV モニター・蛍光灯など）から身を守る
- ④窓際から離れ、机の下などにもぐり、体勢安定のため机の脚を押さえる
- ⑤電気器具の電源を切る
- ⑥火災がある場合は、ハンカチを口にあてるなどして煙を吸わないように注意をする

II. 避難する

担当教員の指示に従い、静かに整然と避難してください。大きな地震には余震の可能性が高いため、十分に注意してください

- ①出口に殺到しないで整然と避難する
- ②身体障害者や負傷者の避難をサポートする
- ③停電した場合、誘導灯を目印に避難する
- ④姿勢を低く保ち、避難には必ず階段を使用する（エレベーターは使用しない）
- ⑤ドアを開放したまま避難する
- ⑥火災がある場合は、ハンカチを口にあてるなどして姿勢を低くし、煙を吸わないように注意をする
- ⑦隣室等の在室者の有無を確認する
- ⑧衣類・持ち物などで頭を覆い、窓ガラス・外壁・看板などの落下物から身を守る
- ⑨屋外では、地面の亀裂や陥没・隆起、電柱・塀などの倒壊に注意する
- ⑩避難場所では、一カ所に集まり、担当教員等の指示に従う（点呼、等）

避難場所：坂本小学校グラウンド

[平成 29 年 10 月 19 日開催保健学科教員会議にて了承]

長崎大学医学部保健学科

〒852-8520 長崎市坂本1丁目7-1

電話 (095) - 819-7909